

新市建設計画策定に係る アンケート調査結果概要

住民アンケート調査結果
中学生アンケート調査結果

平成 15 年 11 月

住民アンケート

調査結果

< 概要 >

目 次

アンケート調査実施内容	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の設計と回収状況	1
アンケート調査結果概要	2
1. 回答者属性	2
2. 生活圏について	2
3. 役場の利用状況	2
4. 行政サービスの満足度	2
5. 新市施策の重要度	2
6. 合併について	3
7. 3町および新市全体のイメージ	3
アンケート調査結果	4
1. 回答者属性	4
2. 生活圏について	5
3. 役場の利用状況	12
(1) 役場の利用頻度	12
(2) 役場の利用目的	13
4. 行政サービスの満足度	14
(1) 各行政サービスの満足度	14
(2) 行政サービス全体の満足度	18
5. 新市施策の重要度	20
6. 合併について	24
(1) 合併の認知度	24
(2) 広報媒体の認知度	25
(3) 合併についての不安の有無	28
(4) 合併についての不安の内容	30
7. 3町および新市全体のイメージ	32
(1) 各町のイメージ	32
(2) 新市の象徴・資源	34
アンケート票	37

アンケート調査実施内容

1. 調査の目的

新市建設計画の策定にあたり、新市における行政の優先施策課題や、ビジョンに対する住民の意向等を把握し、計画づくりに反映させることを目的として住民アンケート調査を実施しました。

2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 生活圏について
- (3) 役場の利用状況
- (4) 行政サービスの満足度
- (5) 新市施策の重要度
- (6) 合併について
- (7) 3町および新市全体のイメージ

3. 調査の設計と回収状況

- (1) 調査地域：大平町・岩舟町・藤岡町全域
- (2) 調査対象：大平町・岩舟町・藤岡町在住の18歳以上の男女10,000人
- (3) 抽出方法：平成15年9月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送配付・郵送回収
- (5) 調査時期：平成15年9月30日～10月8日
- (6) 調査機関：株式会社 インテージ
- (7) 回収状況：

標本数	10,000
回収数（回収率）	4,480（44.8%）
有効回収数（有効回収率）	4,455（44.6%）

< 調査結果の見方 >

- (1) 調査結果の数値は回答率（%）で示しています。%の母数はその質問に回答した数または分類別（性別等）の数で、「サンプル数」または「N」であらわしています。
- (2) 割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までを示しています。よって、は1つだけの質問であっても、回答比率の合計値が100.0%にならない場合があります。また、は3つまでなどの複数回答の質問は、回答比率の合計値が100.0%を超える場合があります。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合があります。
- (4) 数表中に や の印がついているものについては、太線で囲まれた行の数値と比較して、統計的に有意に差があることを示しています（は割合が大きい、は割合が小さい）。
- (5) 帯グラフにおいては、無回答分グラフは表示から除いています。

アンケート調査結果概要

1. 回答者属性

- ・ 性別は、「男性」が 46.2%、「女性」が 52.9%。
- ・ 年齢は、「50 歳代」が最も多く 24.0%、続いて「60 歳代」が 17.4%、「70 歳以上」が 17.0%、「40 歳代」が 15.6%、「30 歳代」が 11.3%、「20 歳代」が 10.7%、「20 歳未満」が 2.5%。
- ・ 職業は、「会社員」が最も多く 24.2%、続いて「主婦」が 19.7%、「無職・学生」が 19.6%。
- ・ 居住年数は「21 年以上」が最も多く、74.8%。続いて「11～20 年」が 13.2%。「5 年以内」と「5～10 年」はいずれも 10%未満。
- ・ 居住地区は、「大平町」が 38.5%、「岩舟町」が 30.3%、「藤岡町」が 28.4%。

2. 生活圏について

- ・ 買い物（食料・日用品）は「大平」、買い物（衣料・家電等）、食事、遊び・娯楽については「小山」、「栃木」、「佐野」に行っている割合が多い。
- ・ 交通手段は主に「自家用車・タクシー」を利用。特に、男女とも 20 歳代から 50 歳代で「自家用車・タクシー」の利用が多い。
- ・ 所要時間は「30 分以内」が多いが、遊び・娯楽では「1 時間以上」をかけ、遠方へ出かける割合も多い。

3. 役場の利用状況

- ・ 役場の利用は「年に 1～2 回以下」（「年に 1～2 回程度」「年に 1 回以下」を含む）が 5 割強。
- ・ 利用目的は「住民票・戸籍・印鑑証明等に関する手続き」が約 8 割。30 歳代と 70 歳以上では「国民健康保険、福祉サービス等に関する手続き」も多い。

4. 行政サービスの満足度

- ・ 「満足派」（「とても満足」、「やや満足」を含む）が多いのは、「各種申請・手続き等窓口業務」、「環境保全・ごみ処理対策」。
- ・ 「不満派」（「とても不満」、「やや不満」を含む）が多いのは、「商業・中心市街地の活性化」、「道路、歩道整備」。
- ・ 「高齢者福祉サービス」では利用者層である 60 歳代から 70 歳以上の高齢者の平均値が高いが、「保育・児童福祉サービス」では、利用者層である 30 歳代の平均値が低い。
- ・ 行政サービス全体の満足度は、「満足派」（「とても満足」「やや満足」を含む）が 22.6%、「不満派」（「とても不満」「やや不満」を含む）が 24.6%。

5. 新市施策の重要度

- ・ 「重要派」（「とても重要」、「やや重要」を含む）が多いのは、「高齢者福祉サービス」、

「環境保全・ごみ処理対策」。

- ・ 「重要ではない派」(「重要ではない」、「あまり重要ではない」を含む)が多いのは、「観光・レクリエーション環境整備」、「文化施設・催物の運営、文化活動支援」。
- ・ 「高齢者福祉サービス」では男女ともに60歳代から70歳以上、「保育・児童福祉サービス」では女性・20歳代、30歳代、「教育・学校サービス」では女性・30歳代が重要視しており、各サービスの利用者層の需要が表れている。

6. 合併について

- ・ 合併について、「知っている」(「詳しく知っている」「大まかなことは知っている」を含む)のは約4割で、年齢が高くなるほど認知度も高くなる傾向。
- ・ 広報媒体の認知度は、町の広報紙を「みる派」(「よくみる」「時々みる」を含む)は7割。合併協議会だよりを「みる派」は5割弱。
- ・ ホームページについては、合併協議会ホームページ、町のホームページともに、「みない派」(「あまりみない」「まったくみない」を含む)が4割。
- ・ 紙媒体、ホームページともに、年齢が高くなるほど「みる派」が多くなる傾向にある。
- ・ 合併について不安を感じているのは半数以上で、特に、女性のほうが不安を感じている割合が高い。
- ・ 不安の内容は「役場の場所が遠くなり、今より不便になる」、「税金が上がる」が6割、「公共料金が上がる」、「中心部だけがよくなって、周辺部がさびれる」、「住民の声が届きにくくなる」が5割前後。

7. 3町および新市全体のイメージ

- ・ 大平町のイメージは、「自然環境がよい」、「都心や市街地へのアクセスがよい」、「居住環境がよい」が3割。
- ・ 岩舟町のイメージは、「自然環境がよい」、「農産物に恵まれている」が4割。
- ・ 藤岡町のイメージは、「自然環境がよい」が5割、「農産物に恵まれている」が3割。
- ・ 新市の象徴・資源については、「自然環境全般」が最も多く37.9%。続いて「とちぎ花センター」が31.3%、「渡良瀬遊水地」が28.8%。
- ・ 20歳未満から30歳代の若年層で「渡良瀬遊水地花火大会」、40歳代～50歳代の中年層では「交通アクセスの良さ」、50～60歳代の中老年層では「自然環境全般」、60歳以上の高齢者層で「とちぎ花センター」が多い。

アンケート調査結果

1. 回答者属性

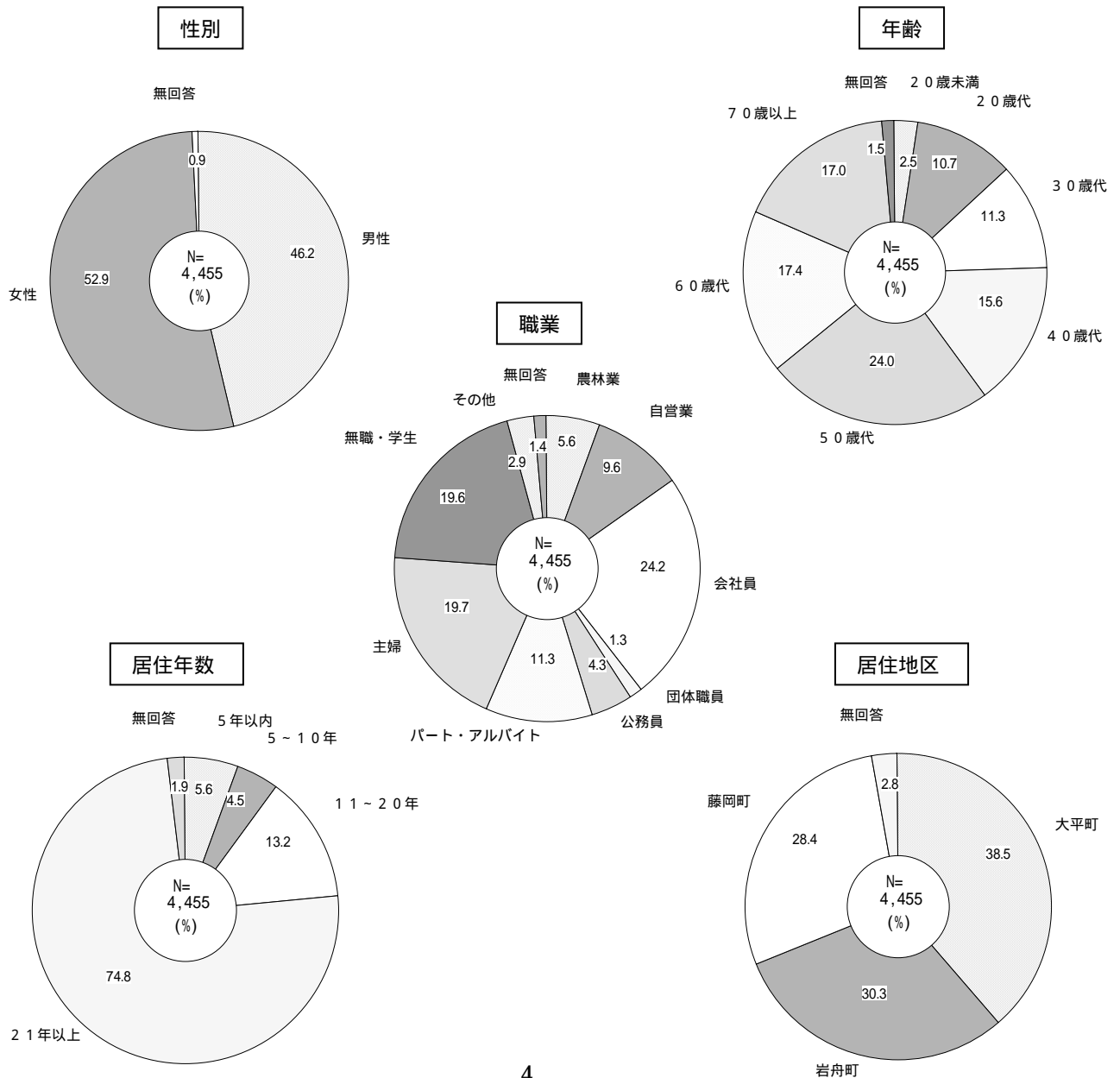
性別は、「男性」が46.2%、「女性」が52.9%の割合であった。

年齢は、「50歳代」が最も多く24.0%、続いて「60歳代」が17.4%、「70歳以上」が17.0%、「40歳代」が15.6%、「30歳代」が11.3%、「20歳代」が10.7%、「20歳未満」が2.5%となっている。

職業は、「会社員」が最も多く24.2%、続いて「主婦」が19.7%、「無職・学生」が19.6%となっている。

居住年数は、「21年以上」が最も多く全体の3分の2(74.8%)を占めた。続いて「11~20年」が13.2%となっており、「5年以内」と「5~10年」はいずれも10%未満となっている。

居住地区は、「大平町」が38.5%、「岩舟町」が30.3%、「藤岡町」が28.4%となっている。



2. 生活圏について

主な方面として、通勤・通学、病院については、各町がそれぞれ1割前後となっている。

買い物(食料・日用品)については、「大平」が最も多く33.4%となっている。

買い物(衣料・家電等)、食事、遊び・娯楽については、3町の周辺である、「小山」、
「栃木」、「佐野」が多くなっている。

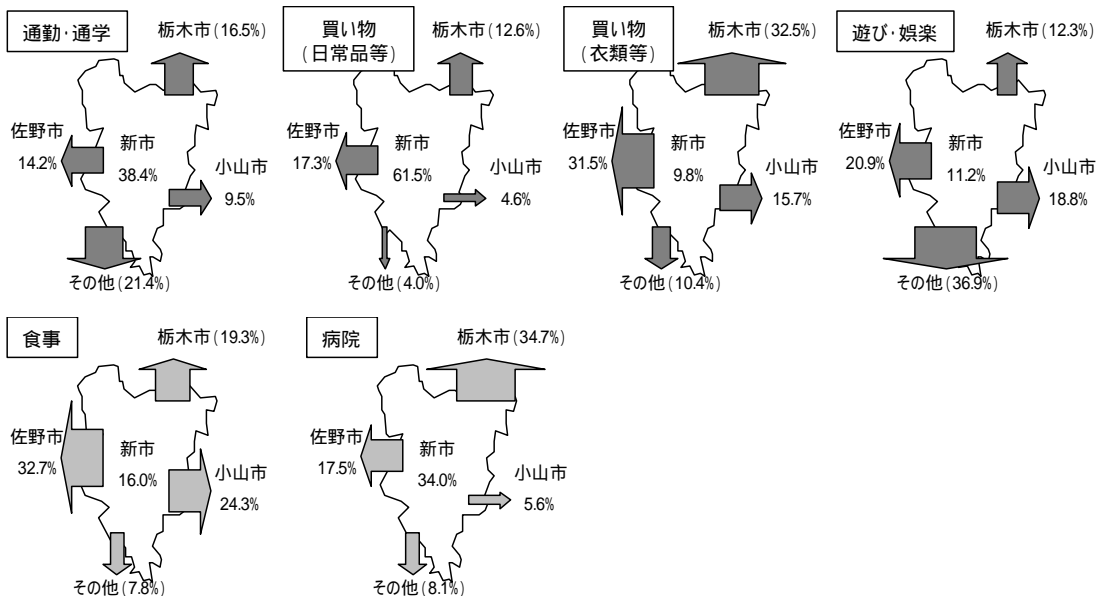
また、通勤・通学、遊び・娯楽については「その他」も多くなっている。

住民の生活行動をみると、買い物(衣類等)や遊び・娯楽などで町外への流出が多くみられる。

主な方面

	大平	岩舟	藤岡	小山	栃木	佐野	その他	無回答	(%)	サンプル数	
通勤・通学	10.4	6.5	6.0	5.7	9.8	8.5	12.7	40.3		4455	
買い物(食料・日用品)	33.4			12.0	9.4	4.1	11.2	15.4	3.6	11.0	4455
買い物(衣料・家電等)	4.3	2.0	2.0	13.4	27.7		26.9	8.9		14.8	4455
食事	7.2	4.1	1.7	19.6	15.6		26.4	6.3		19.2	4455
病院	12.6	10.5	6.8	4.9	30.5		15.4	7.1		12.1	4455
遊び・娯楽	4.3	2.9	1.5	14.7	9.7		16.5	29.0		21.4	4455

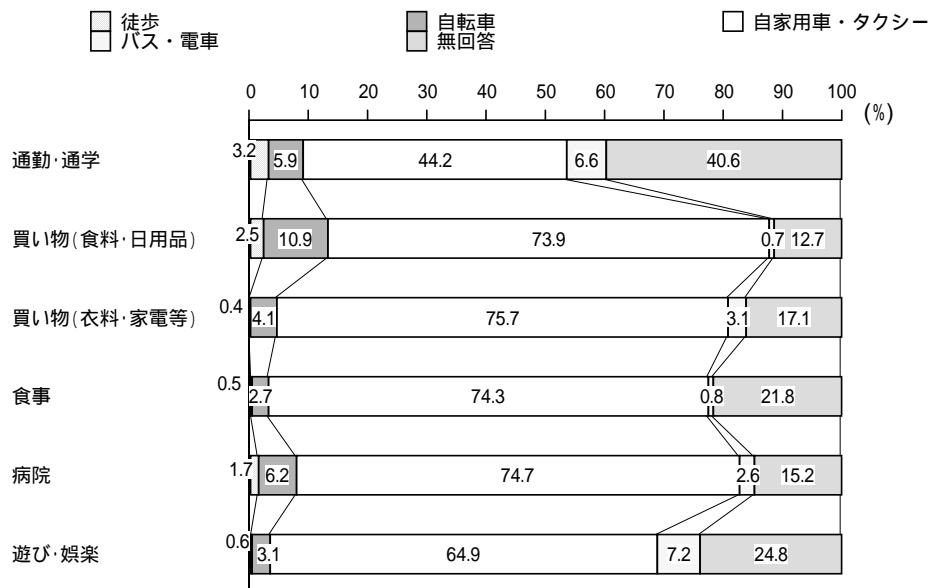
住民の生活行動



交通手段としては、いずれも「自家用車・タクシー」が最も多くなっている。

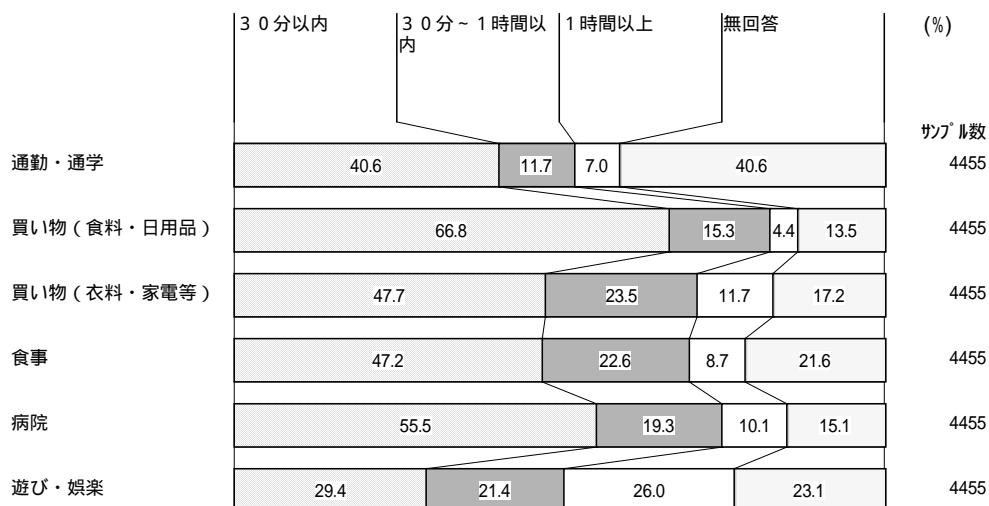
また、買い物(食料・日用品)については、「自転車」が1割、通勤・通学、遊び・娯楽については、「バス・電車」が1割弱となっている。

交通手段



所要時間としては、いずれも「30分以内」が最も多くなっているが、遊び・娯楽については、「1時間以上」も26.0%となっており、遠方へ出かける割合が多いことを裏づけている。

所要時間



主な方面を居住地区別にみると、買い物（食料・日用品） 病院について、大平町では他の2町に比べて町内での移動が多くなっている。

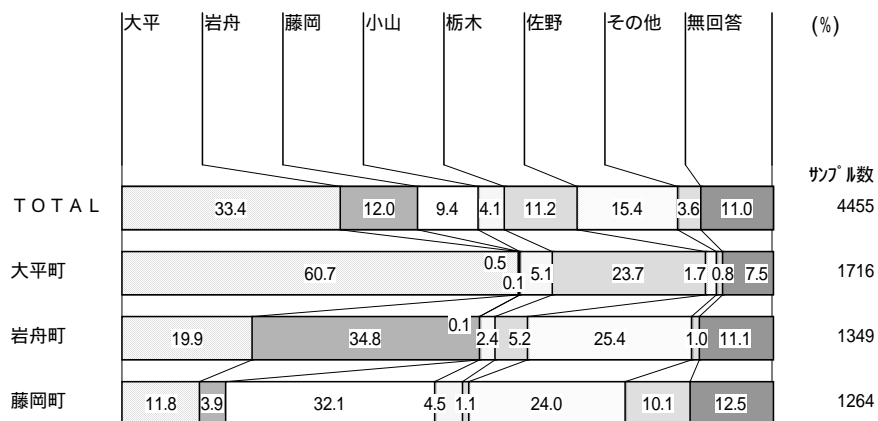
交通手段を性別年齢別にみると、買い物（食料・日用品）について、男女とも20歳代から50歳代では「自家用車・タクシー」が8割前後となっており、女性・60歳代、70歳以上では「自転車」が2割となっている。

病院については、男性・20歳代から50歳代では「自家用車・タクシー」が8割以上、女性・20歳代から50歳代では8割前後となっている。また、男性・20歳未満、女性・60歳代、70歳以上では「自転車」が1割となっている。

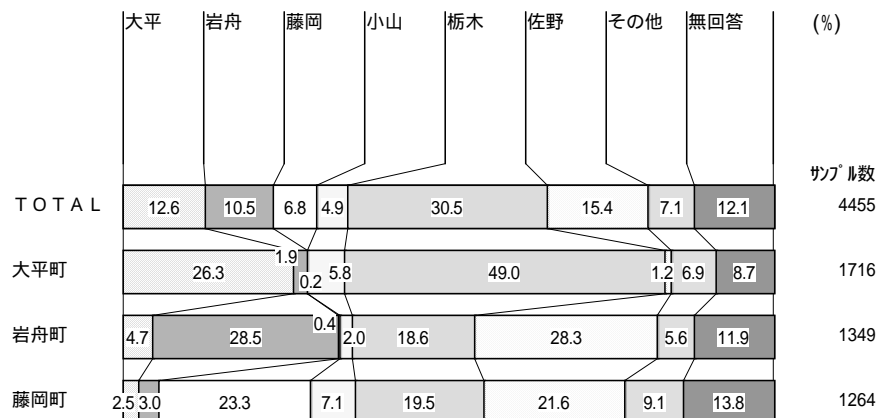
所要時間を性別年齢別にみると、買い物（食料・日用品）について、男性・30歳代、40歳代、女性・20歳未満から40歳代では「30分以内」が8割となっている。

病院については、男女とも50歳以上で「1時間以上」が1割前後と他に比べて多くなっている。

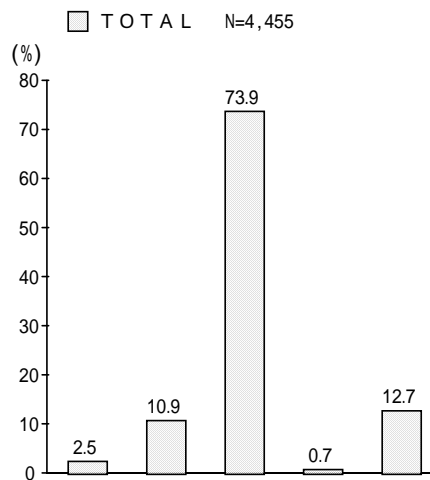
買い物（食料・日用品）(居住地区別)



病院（居住地区別）

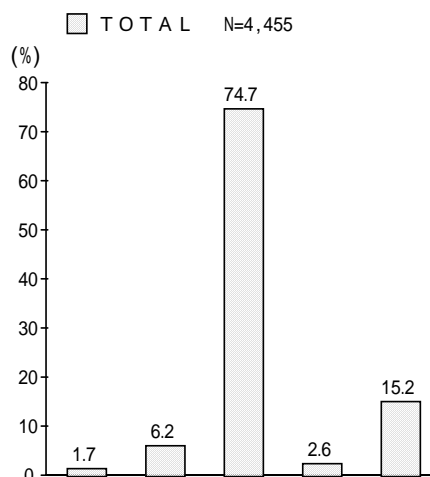


買い物（食料・日用品）（性別年齢別）



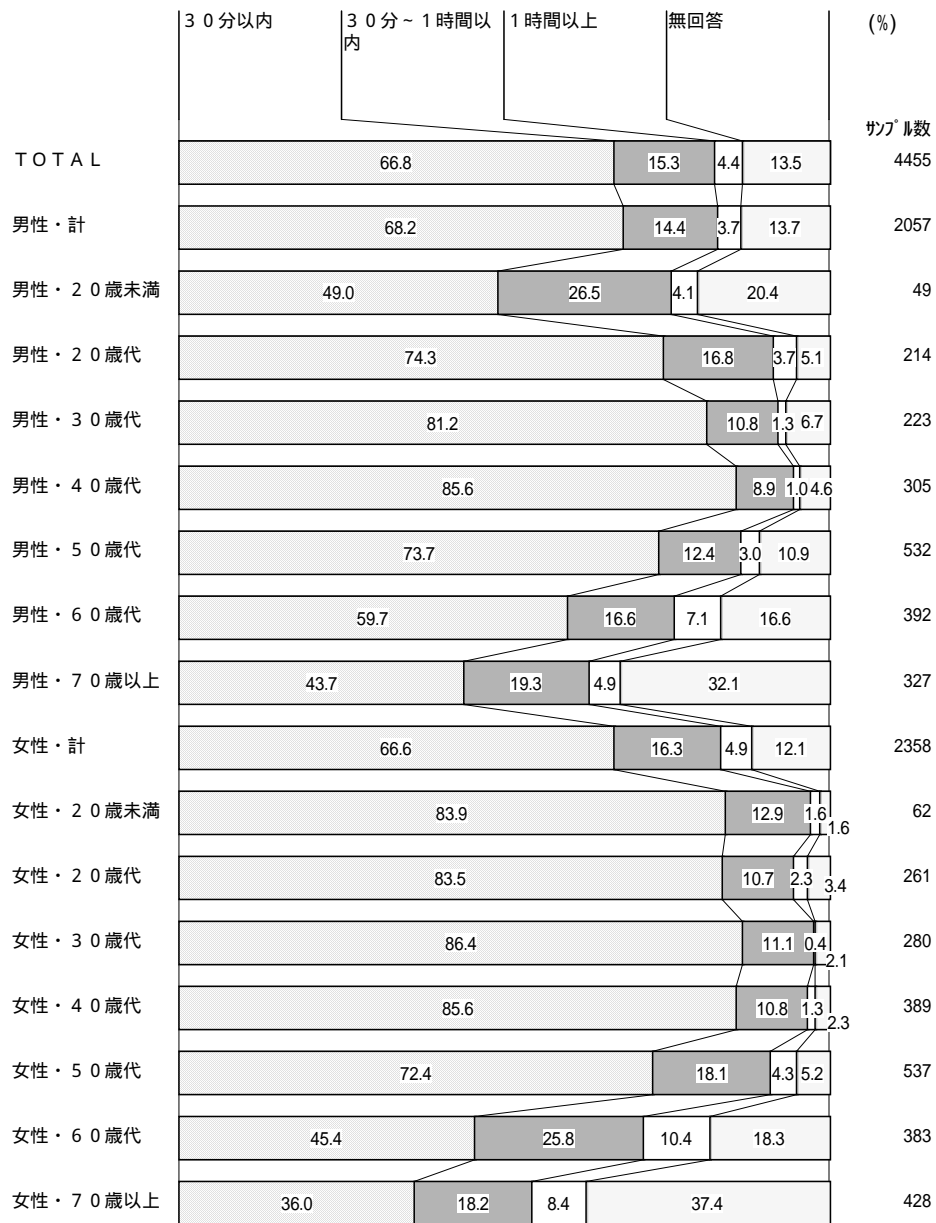
		1 徒歩	2 自転車	3 自家用車・ タクシー	4 バス・ 電車	5 無 回答	
*問1 - 2 性・年齢	N						
0	TOTAL	4,455	2.5	10.9	73.9	0.7	12.7
1	男性・計	2,057	△ 1.7	△ 6.4	○ 78.6	0.7	13.3
2	男性・20歳未満	49	2.0	16.3	△ 57.1	○ 10.2	14.3
3	男性・20歳代	214	2.3	△ 5.1	○ 85.0	○ 2.8	△ 5.1
4	男性・30歳代	223	1.8	△ 2.2	○ 88.8	0.9	△ 6.3
5	男性・40歳代	305	1.0	△ 2.3	○ 93.4	0.0	△ 4.3
6	男性・50歳代	532	△ 1.1	△ 5.3	○ 83.6	△ 0.0	10.5
7	男性・60歳代	392	2.0	△ 7.4	75.0	0.3	16.1
8	男性・70歳以上	327	2.1	12.8	△ 53.5	0.0	○ 32.4
9	女性・計	2,358	3.3	○ 14.9	△ 70.9	0.7	△ 11.0
10	女性・20歳未満	62	0.0	17.7	77.4	○ 4.8	△ 0.0
11	女性・20歳代	261	2.3	7.3	○ 87.7	0.8	△ 2.3
12	女性・30歳代	280	1.4	8.9	○ 90.0	0.0	△ 1.4
13	女性・40歳代	389	2.6	10.3	○ 85.6	0.0	△ 2.3
14	女性・50歳代	537	3.2	13.2	○ 79.7	△ 0.0	△ 4.5
15	女性・60歳代	383	○ 4.2	○ 24.5	△ 54.8	○ 1.8	16.2
16	女性・70歳以上	428	○ 5.4	○ 20.8	△ 37.6	1.2	○ 35.5
17	無回答	73	1.4	8.2	△ 34.2	1.4	○ 54.8

病院（性別年齢別）

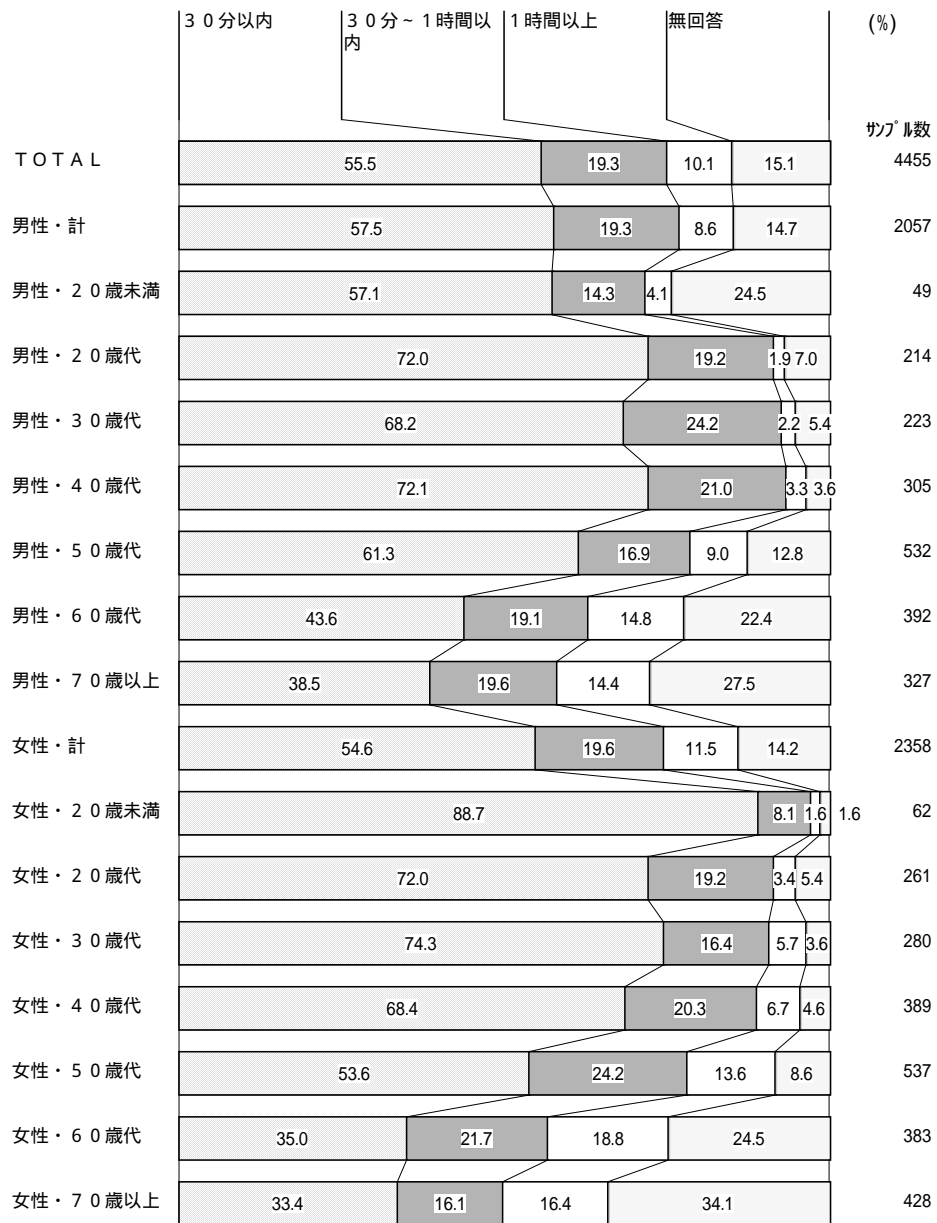


		1	2	3	4	5	
		徒歩	自転車	自家用車・タクシー	バス・電車	無回答	
*問1 - 2 性・年齢	N						
0	TOTAL	4,455	1.7	6.2	74.7	2.6	15.2
1	男性・計	2,057	1.3	4.1	77.6	2.0	15.3
2	男性・20歳未満	49	2.0	16.3	61.2	2.0	18.4
3	男性・20歳代	214	1.9	5.1	82.7	0.5	9.8
4	男性・30歳代	223	1.3	3.6	87.9	1.3	5.8
5	男性・40歳代	305	1.3	1.3	92.8	0.0	4.6
6	男性・50歳代	532	0.8	3.4	82.1	0.9	13.3
7	男性・60歳代	392	1.0	3.1	71.7	2.6	21.7
8	男性・70歳以上	327	2.1	7.0	56.3	6.4	29.1
9	女性・計	2,358	2.0	8.1	73.3	3.1	14.0
10	女性・20歳未満	62	1.6	9.7	85.5	3.2	0.0
11	女性・20歳代	261	1.5	5.7	88.5	0.4	4.2
12	女性・30歳代	280	0.0	6.4	88.6	0.4	4.6
13	女性・40歳代	389	1.8	4.4	88.7	1.5	4.1
14	女性・50歳代	537	1.5	5.8	79.5	3.9	9.5
15	女性・60歳代	383	2.9	13.6	56.4	5.5	22.7
16	女性・70歳以上	428	3.7	12.1	46.5	4.7	33.6
17	無回答	73	0.0	4.1	27.4	2.7	65.8

買い物（食料・日用品）（性別年齢別）



病院（性別年齢別）

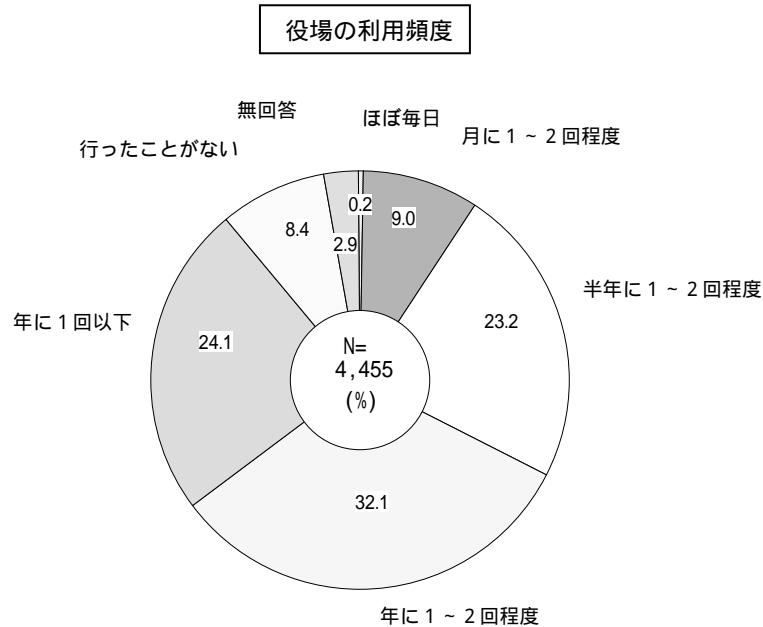


3. 役場の利用状況

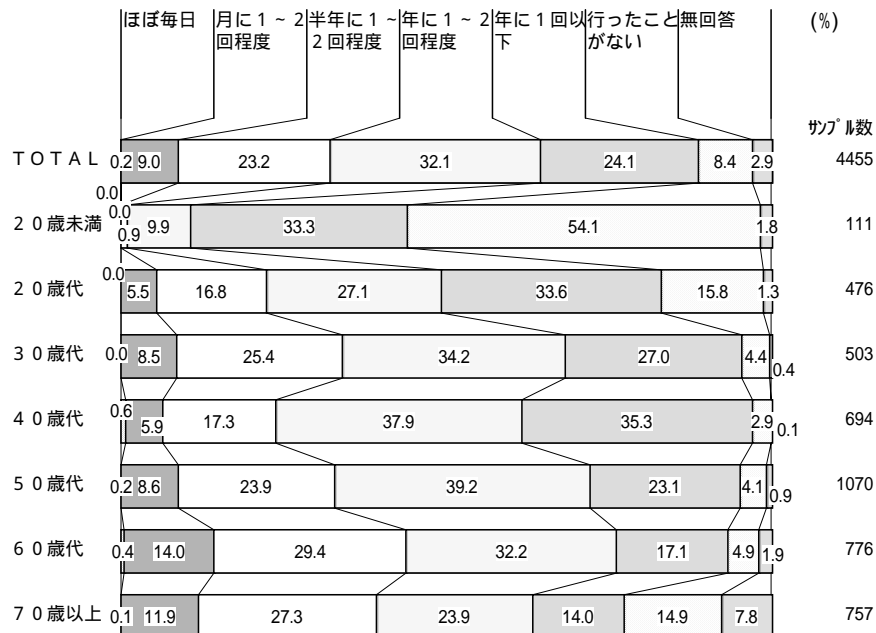
(1) 役場の利用頻度

役場等の利用頻度については、「年に1~2回程度」が最も多く32.1%、続いて「年に1回以下」が24.1%となっており、合わせて5割強が「年に1~2回以下」となっている。

年齢別にみると、20歳未満で「行ったことがない」が54.1%と他に比べて多くなっている。



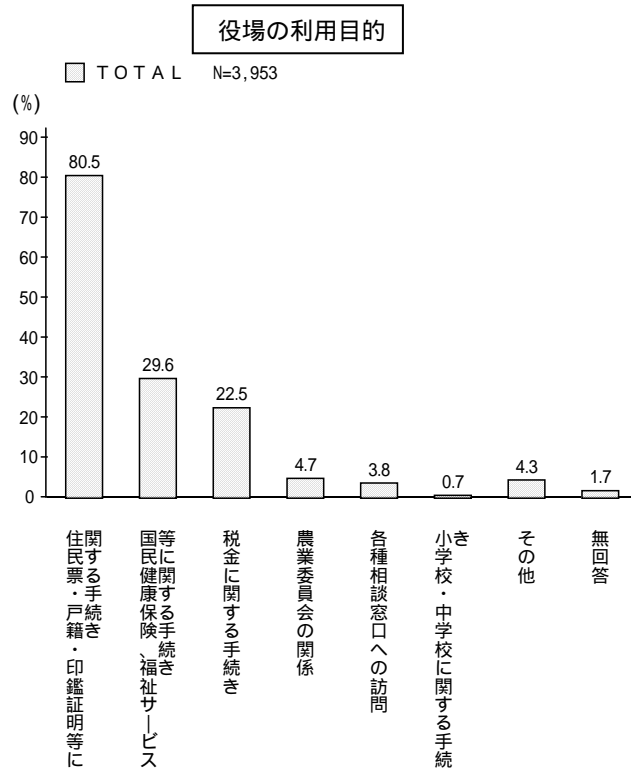
役場等の利用頻度(年齢別)



(2) 役場の利用目的

役場の利用目的については、「住民票・戸籍・印鑑証明等に関する手続き」(80.5%)が最も多く8割となっており、「国民健康保険、福祉サービス(児童・高齢者・障害者)等に関する手続き」(29.6%)、「税金に関する手続き」(22.5%)は2割となっている。

年齢別にみると、「国民健康保険、福祉サービス等に関する手続き」が30歳代で38.0%、70歳以上で49.2%と他に比べて多くなっている。



役場の利用目的(年齢別)

*問1-2 年齢	N	1	2	3	4	5	6	7	8
		住民票・戸籍・印鑑証明等に関する手続き	国民健康保険、福祉サービス等に関する手続き	税金に関する手続き	農業委員会の関係	各種相談窓口への訪問	小学校・中学校に関する手続き	その他	無回答
0 TOTAL	3,953	80.5	29.6	22.5	4.7	3.8	0.7	4.3	1.7
1 20歳未満	49	85.7	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	10.2	0.0
2 20歳代	395	79.7	25.6	17.2	0.3	1.5	0.3	2.8	1.5
3 30歳代	479	79.7	38.0	15.7	1.9	2.5	2.7	2.7	0.0
4 40歳代	673	88.1	21.0	21.0	1.9	3.7	1.3	3.9	0.9
5 50歳代	1,016	89.5	21.4	23.5	4.6	2.2	0.2	4.1	1.0
6 60歳代	723	82.4	32.1	32.0	7.6	6.2	0.1	4.1	1.4
7 70歳以上	585	54.7	49.2	22.6	10.6	7.0	0.3	7.2	5.8
8 無回答	33	78.8	30.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1

4. 行政サービス満足度

(1) 各行政サービスの満足度

行政サービスの「満足派」(「とても満足満」、「やや満足」を含む)が多いのは、各種申請・手続き等窓口業務(48.7%)、環境保全・ごみ処理対策(32.3%)だが、平均値をみると、各種申請・手続き等窓口業務(0.4点) 高齢者福祉サービス(0.2点)が高くなっている。

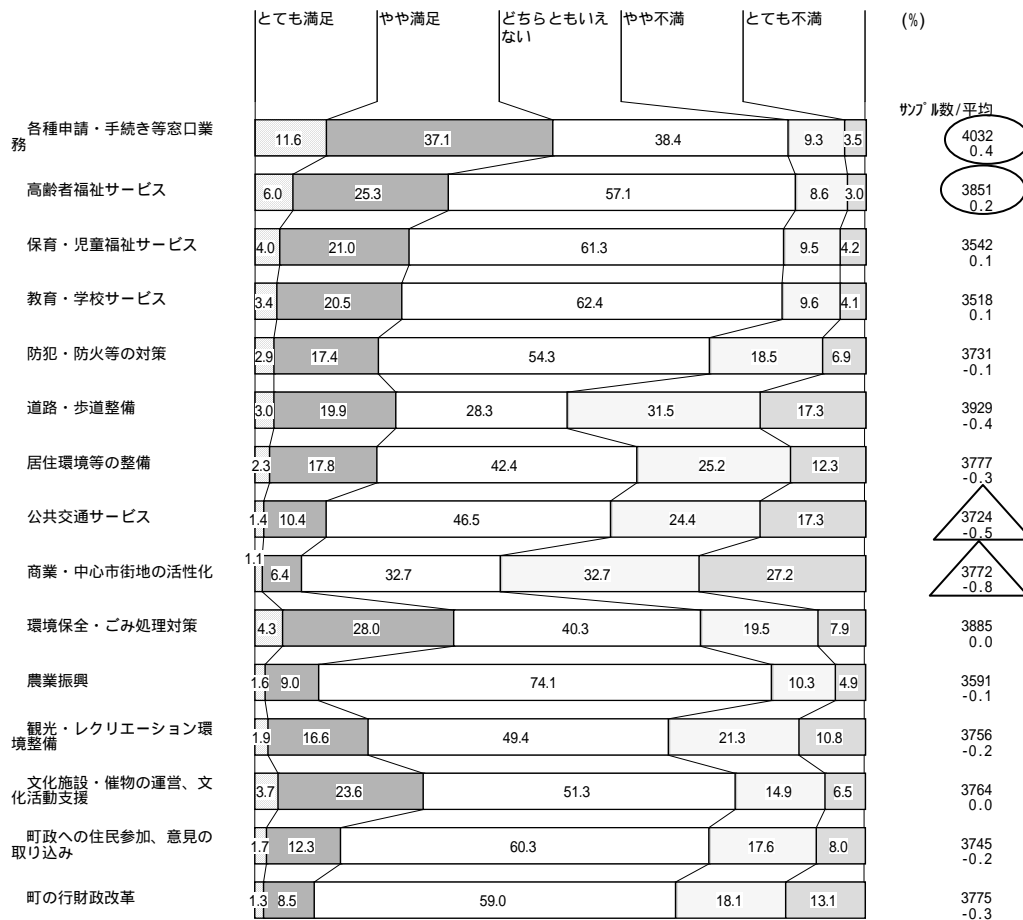
一方、「不満派」(「とても不満」、「やや不満」を含む)が多いのは、商業・中心市街地の活性化(59.9%) 道路、歩道整備(48.8%)だが、平均値が低いのは、商業・中心市街地の活性化(0.8点) 公共交通サービス(0.5点)となっている。

高齢者福祉サービスを性別年齢別にみると、男女とも年齢が高くなるほど「満足派」が多くなる傾向で、利用者層である70歳代での平均値が最も高くなっている。

一方、保育・児童福祉サービスについては、男女とも利用者層である30歳代の平均値が他に比べて低くなっている。

道路、歩道整備、公共交通サービスを居住地区別にみると、大平町では他の2町に比べて平均値が高くなっている。

行政サービスの満足度



(注) 1. 平均は、「とても満足(2点)」、「やや満足(1点)」、「どちらともいえない(0点)」、「やや不満(-1点)」、「とても不満(-2点)」と設定した得点とそれぞれに回答した人数を掛け合わせ、全回答者数で割った値。

2. 無回答は除く。

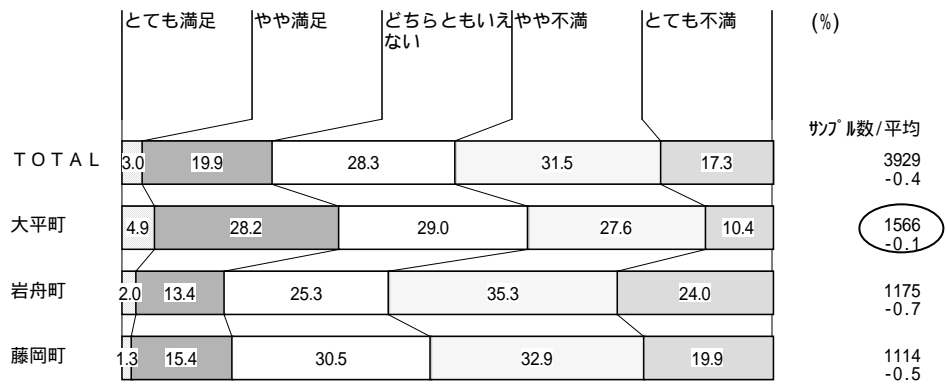
高齢者福祉サービス（性別年齢別）

	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満	(%)	サフ [※] 数/平均
TOTAL	6.0	25.3	57.1	8.6	3.0		3851 0.2
男性・計	5.8	24.9	56.5	9.6	3.2		1798 0.2
男性・20歳未満	2.2	15.2	73.9	4.3	4.3		46 0.1
男性・20歳代	2.9	13.2	73.2	6.3	4.4		205 0.0
男性・30歳代	1.4	14.9	72.6	9.6	1.4		208 0.1
男性・40歳代	1.7	14.5	69.6	10.0	4.2		289 0.0
男性・50歳代	4.7	25.5	54.2	12.2	3.4		467 0.2
男性・60歳代	7.0	34.4	46.0	10.3	2.3		302 0.3
男性・70歳以上	16.9	41.9	30.9	7.4	2.9		272 0.6
女性・計	6.2	25.5	57.8	7.7	2.9		2045 0.2
女性・20歳未満	12.3	17.5	54.4	15.8	0.0		57 0.3
女性・20歳代	2.8	15.3	73.4	6.0	2.4		248 0.1
女性・30歳代	1.5	16.7	73.1	5.7	3.0		264 0.1
女性・40歳代	4.2	19.6	65.9	7.0	3.4		358 0.1
女性・50歳代	5.3	26.5	57.5	8.5	2.1		471 0.2
女性・60歳代	8.7	33.7	47.0	7.7	3.0		300 0.4
女性・70歳以上	12.5	38.5	36.1	9.0	3.9		335 0.5

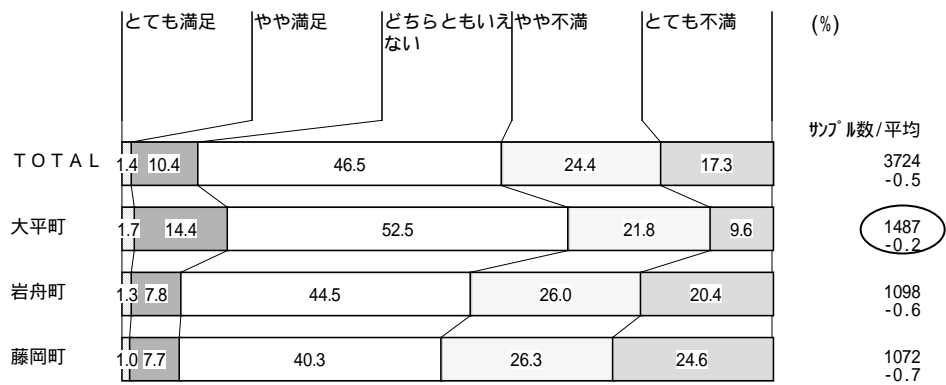
保育・児童福祉サービス（性別年齢別）

	とても満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満	(%)	サンプル数/平均
TOTAL	4.0	21.0	61.3	9.5	4.2		3542 0.1
男性・計	3.3	20.8	62.8	9.2	3.9		1651 0.1
男性・20歳未満	4.3	8.7	76.1	8.7	2.2		46 0.0
男性・20歳代	2.9	12.3	68.6	9.8	6.4		204 0.0
男性・30歳代	2.9	22.9	49.5	15.2	9.5		210 -0.1
男性・40歳代	1.0	16.4	67.9	11.5	3.1		287 0.0
男性・50歳代	2.2	21.0	65.5	8.5	2.8		461 0.1
男性・60歳代	5.6	30.2	56.3	6.0	2.0		252 0.3
男性・70歳以上	7.1	25.1	61.7	4.4	1.6		183 0.3
女性・計	4.7	21.2	60.0	9.7	4.5		1886 0.1
女性・20歳未満	8.6	19.0	60.3	6.9	5.2		58 0.2
女性・20歳代	6.0	20.4	56.8	12.4	4.4		250 0.1
女性・30歳代	3.7	20.8	45.4	18.6	11.5		269 -0.1
女性・40歳代	3.3	17.8	64.6	9.7	4.5		359 0.1
女性・50歳代	3.9	21.4	64.7	7.0	3.1		459 0.2
女性・60歳代	6.9	27.0	59.5	5.8	0.7		274 0.3
女性・70歳以上	4.8	21.4	64.3	6.2	3.3		210 0.2

道路・歩道整備(居住地区別)



公共交通サービス(居住地区別)



(2)行政サービス全体の満足度

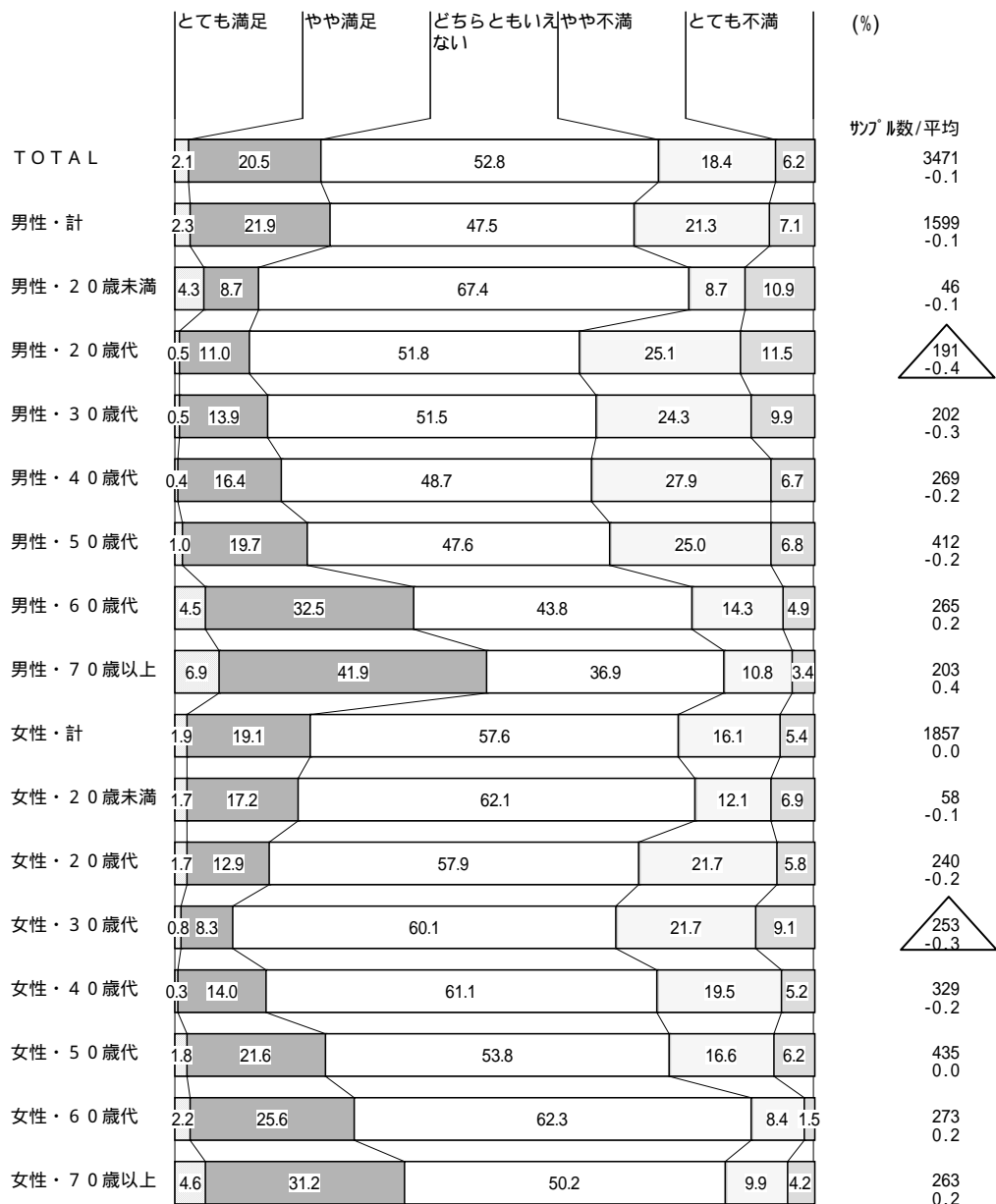
行政サービス全体の満足度については、「どちらともいえない」(52.8%)が最も多く、5割であった。

「とても満足」(2.1%)と「やや満足」(20.5%)を合わせた「満足派」は22.6%、「とても不満」(6.2%)と「やや不満」(18.4%)を合わせた「不満派」は24.6%となっており、平均値は「0.1」であった。

性別年齢別にみると、男性では20歳代(0.4点)、女性では30歳代(0.3点)がそれぞれ他の年代に比べて平均値が低くなっている。

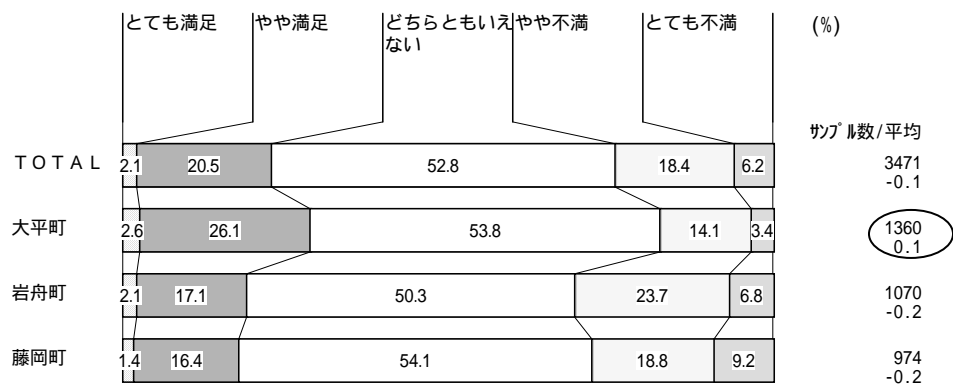
居住地区別にみると、大平町で他の2町に比べて平均値が高くなっている。

行政サービス全体の満足度(性別年齢別)



(注) 1. 平均は、「とても満足(2点)」、「やや満足(1点)」、「どちらともいえない(0点)」、「やや不満(1点)」、「とても不満(-2点)」と設定した得点とそれぞれに回答した人数を掛け合わせ、全回答者数で割った値。
2. 無回答は除く。

行政サービス全体の満足度（居住地区別）



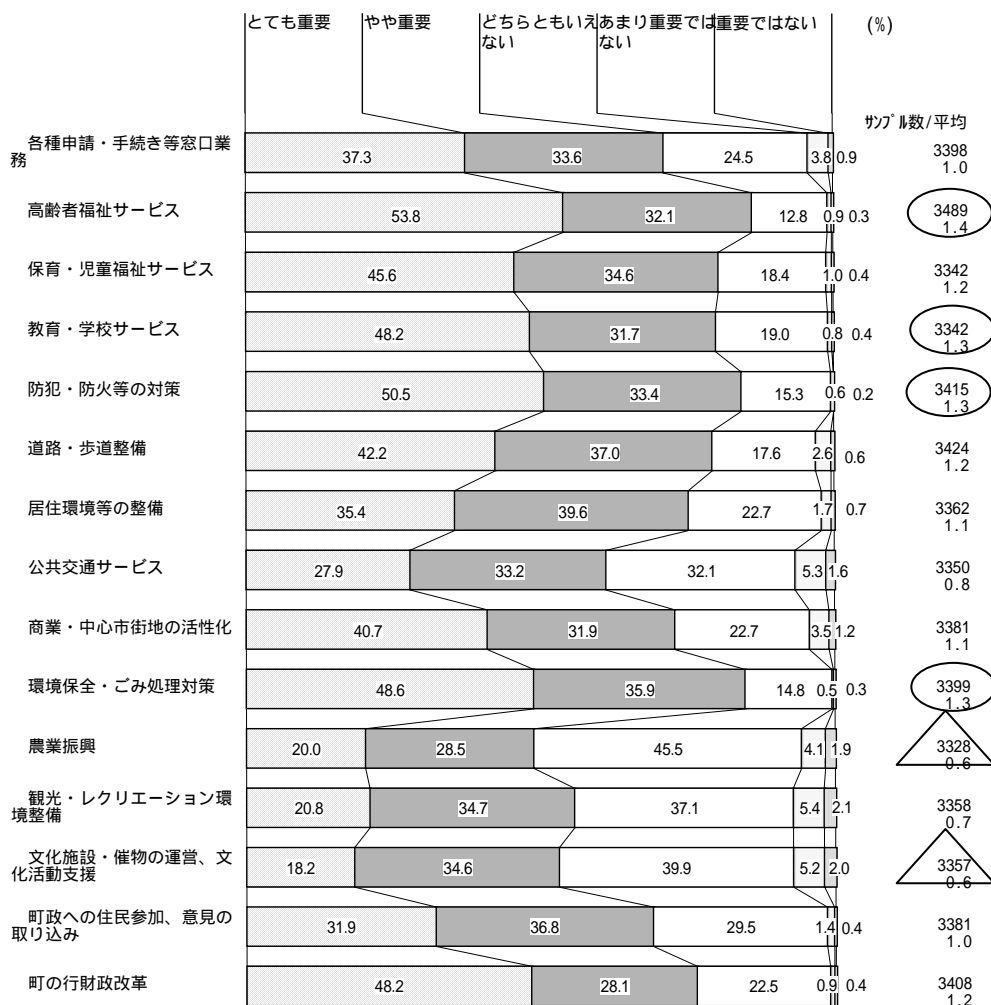
5. 新市施策の重要度

新市施策の「重要派」(「とても重要」、「やや重要」を含む)が多いのは、高齢者福祉サービス(85.9%) 環境保全・ごみ処理対策(84.5%)だが、平均値をみると、高齢者福祉サービス(1.4点) 教育・学校サービス(1.3点) 防犯・防火等の対策(1.3点) 環境保全・ごみ処理対策(1.3点)が高くなっている。

一方、「重要ではない派」(「重要ではない」、「あまり重要ではない」を含む)が多いのは、観光・レクリエーション環境整備(7.5%) 文化施設・催物の運営、文化活動支援(7.2%)だが、平均値が低いのは、農業振興(0.6点) 文化施設・催物の運営、文化活動支援(0.6点)となっている。

高齢者福祉サービス、保育・児童福祉サービス、教育・学校サービスを性別年齢別にみると、各々のサービス利用者層のニーズが高く表れており、高齢者福祉サービスでは男女ともに60歳代、70歳以上(各1.5点) 保育・児童福祉サービスでは女性・20歳代(1.4点) 30歳代(1.6点) 教育・学校サービスでは女性・30歳代(1.5点)で平均値が高くなっている。

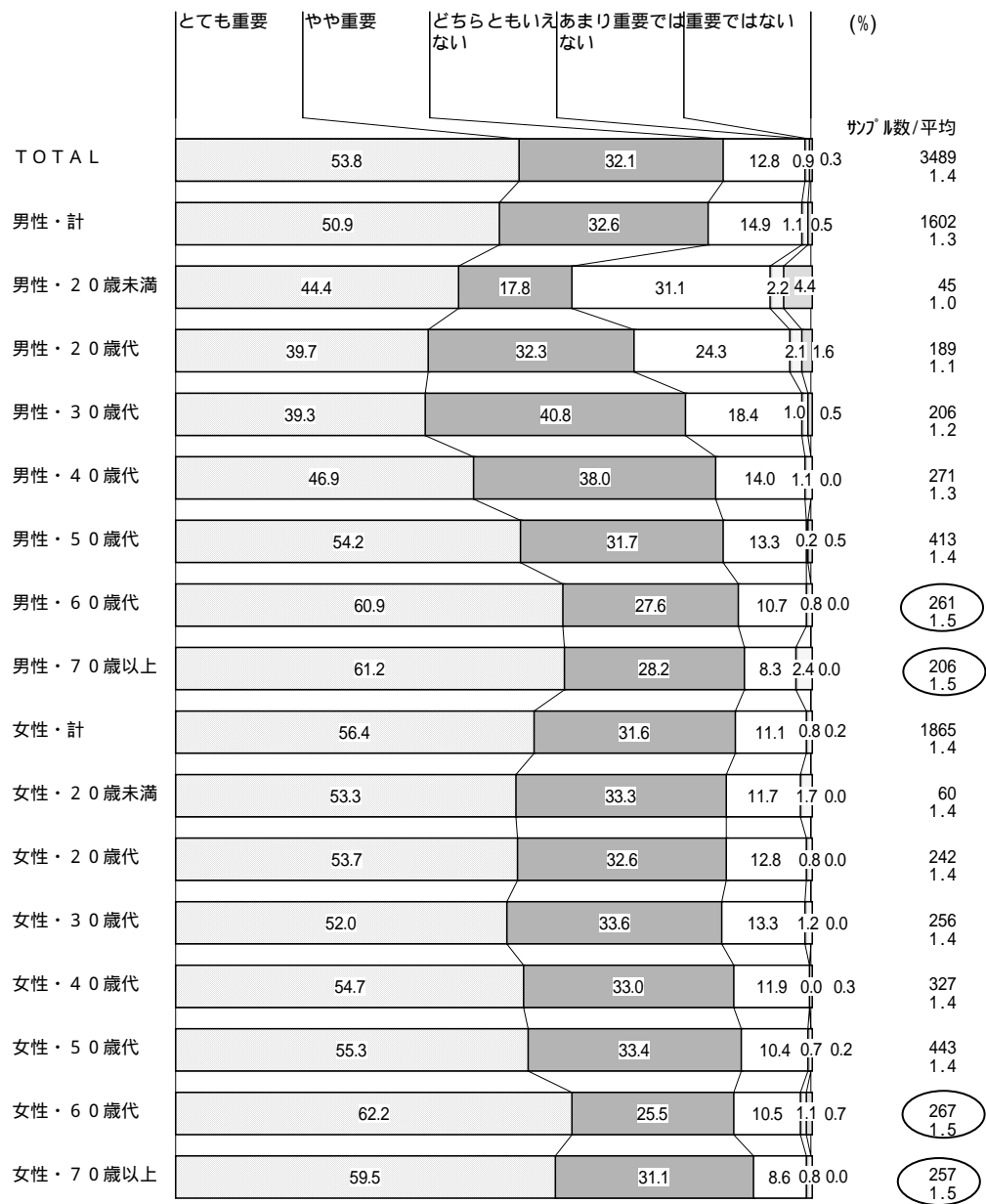
新市施策の重要度



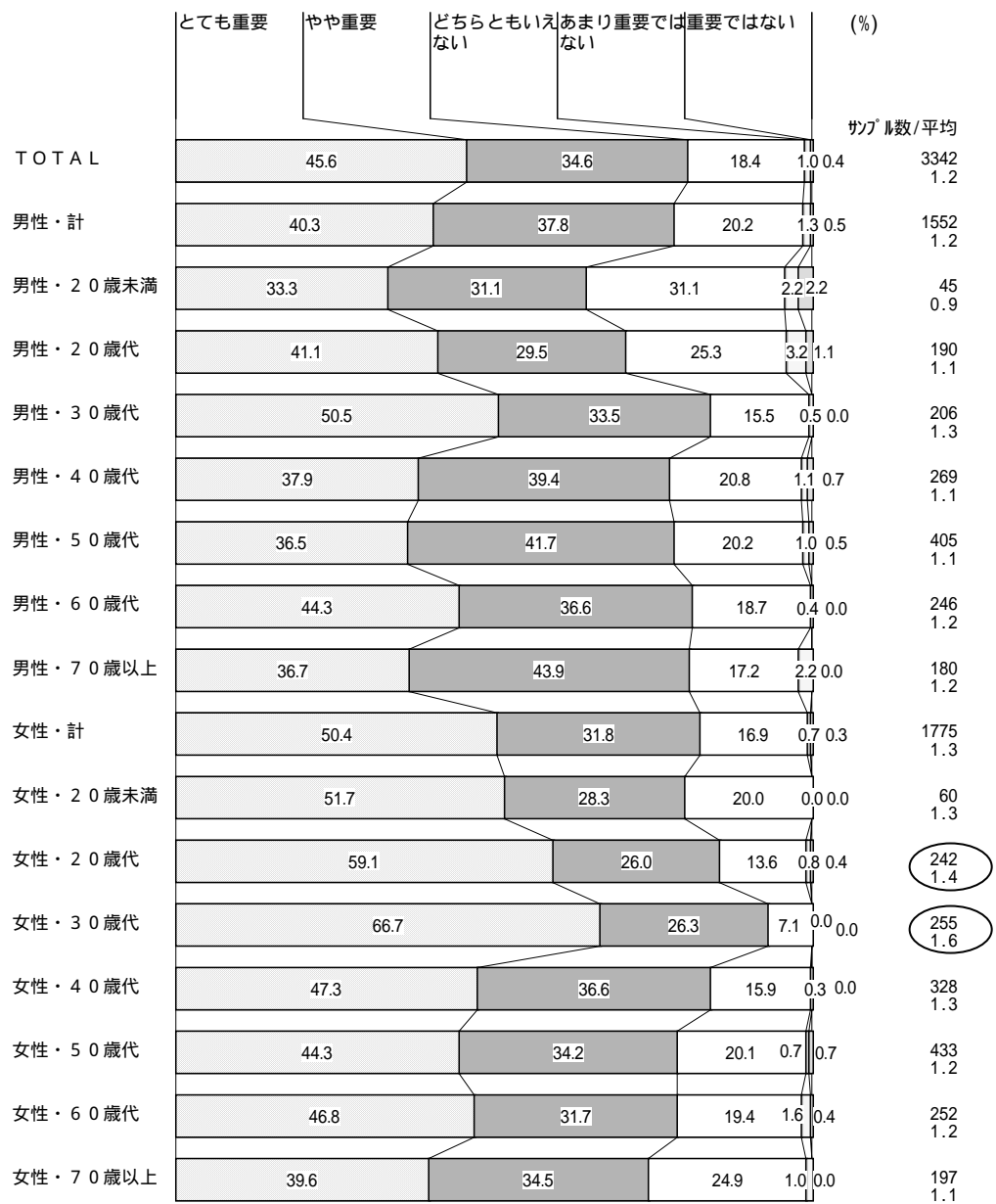
(注) 1. 平均は、「とても重要(2点)」、「やや重要(1点)」、「どちらともいえない(0点)」、「あまり重要ではない(1点)」、「重要ではない(-2点)」と設定した得点とそれぞれに回答した人数を掛け合わせ、全回答者数で割った値。

2. 無回答は除く。

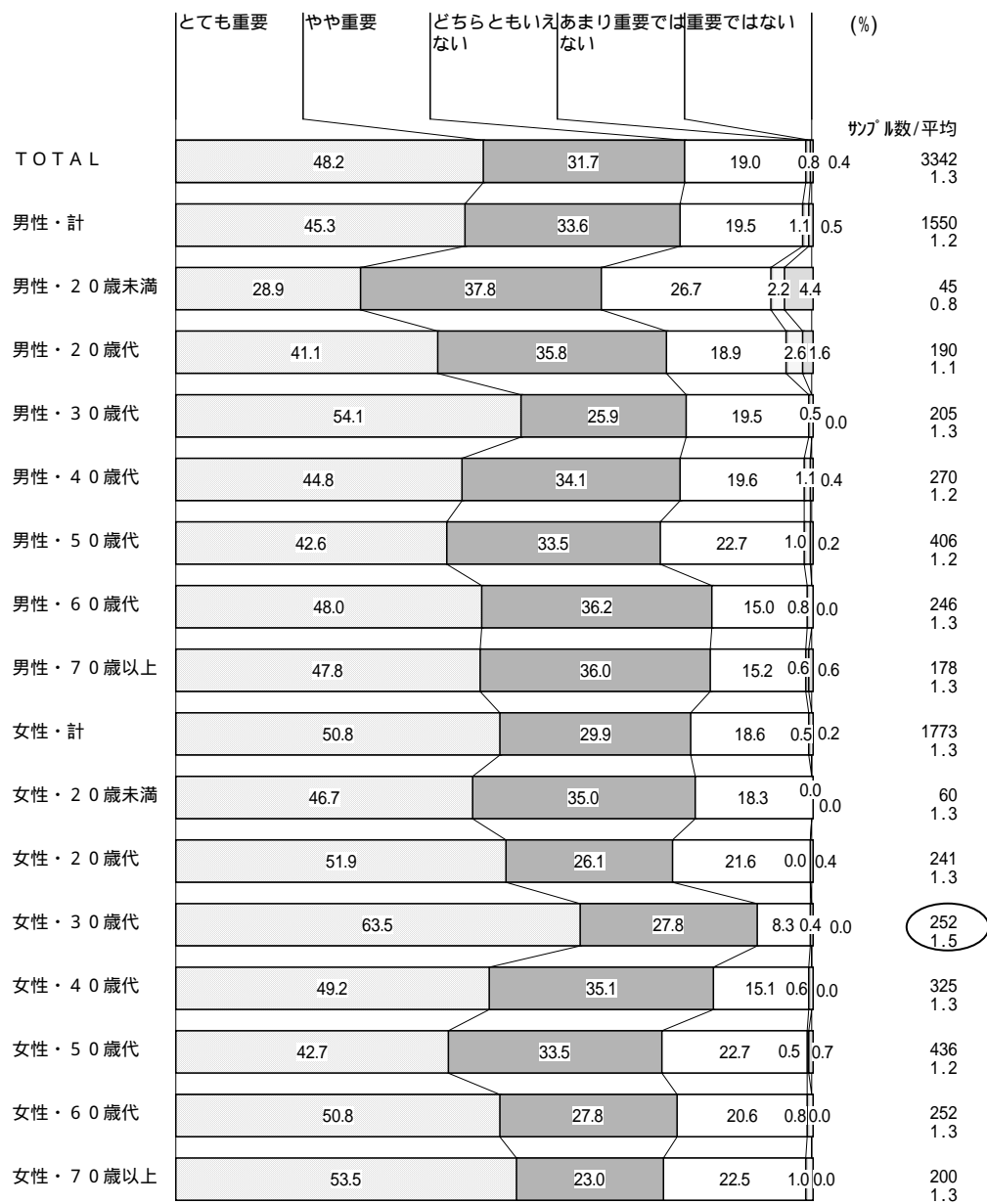
高齢者福祉サービス（性別年齢別）



保育・児童福祉サービス（性別年齢別）



教育・学校サービス（性別年齢別）



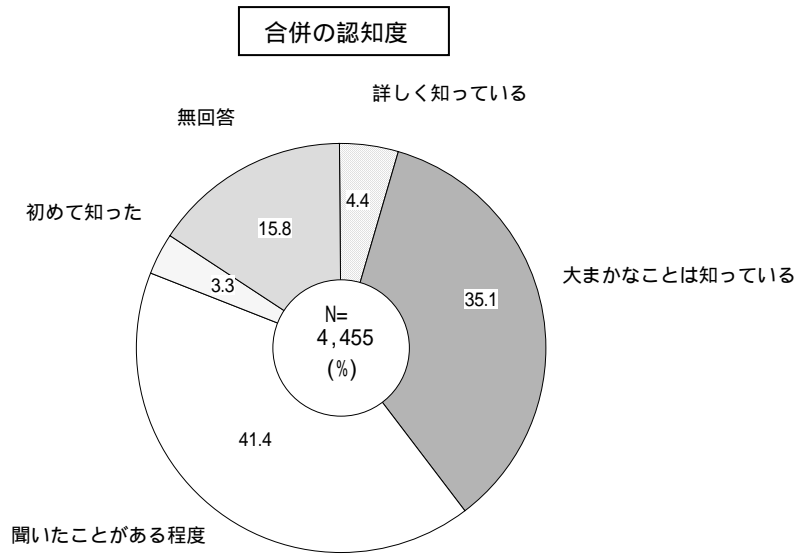
6. 合併について

(1) 合併の認知度

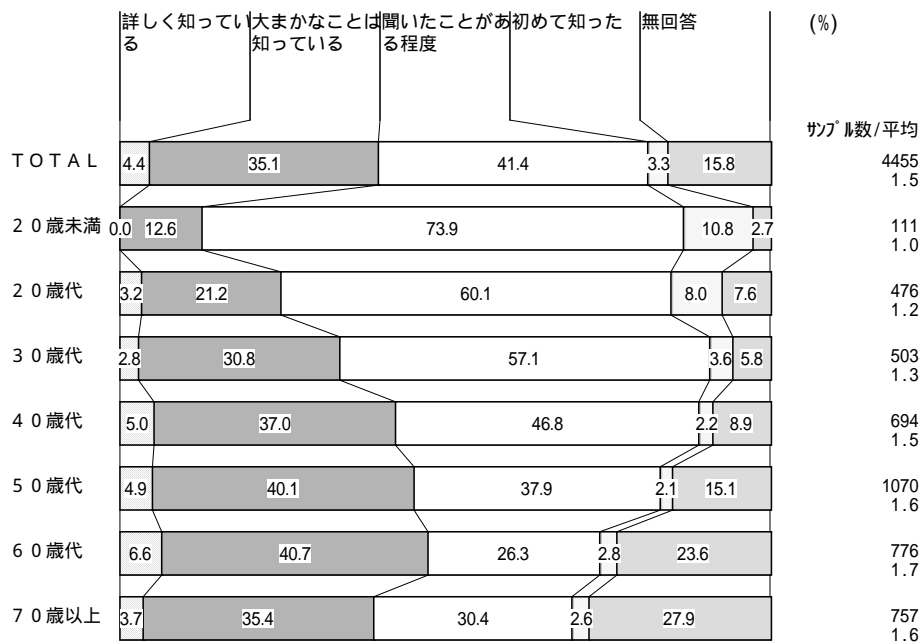
3町が合併することについて、「聞いたことがある程度」(41.4%)が最も多く4割を占める。

「詳しく知っている」(4.4%)、「大まかなことは知っている」(35.1%)を含めた「知っている」割合は、約4割(39.5%)であった。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど認知度が高い傾向となっている。



合併の認知度 (年齢別)



(注) 平均は、「詳しく知っている(3点)」、「大まかなことは知っている(2点)」、「聞いたことがある程度(1点)」、「初めて知った(0点)」と設定した得点とそれぞれに回答した人数を掛け合わせ、全回答者数で割った値。

(2) 広報媒体の認知度

広報媒体の認知度について、町の広報紙は「よくみる」(46.6%)、「時々みる」(25.1%)を合わせて7割と高い認知度となっている。また、合併協議会だよりは、「よくみる」(15.8%)、「時々みる」(27.7%)を合わせて5割弱となっている。

一方、合併協議会ホームページ、町のホームページについては、みない派(「あまりみない」、「まったくみない」)がそれぞれ4割を占め、「あることを知らない」人もそれぞれ2割前後を占める。

合併協議会だよりや、町の広報紙等の紙媒体を年齢別にみると、合併協議会だよりでは60歳代まで、町の広報紙では50歳代までは、年齢が高くなるほど「よくみる」が多くなっている。

合併協議会ホームページや、町のホームページについても、年齢が高くなるほど「よくみる」が多くなっている。一方、20歳未満、20歳代で「あることを知らない」が4~5割となっている。

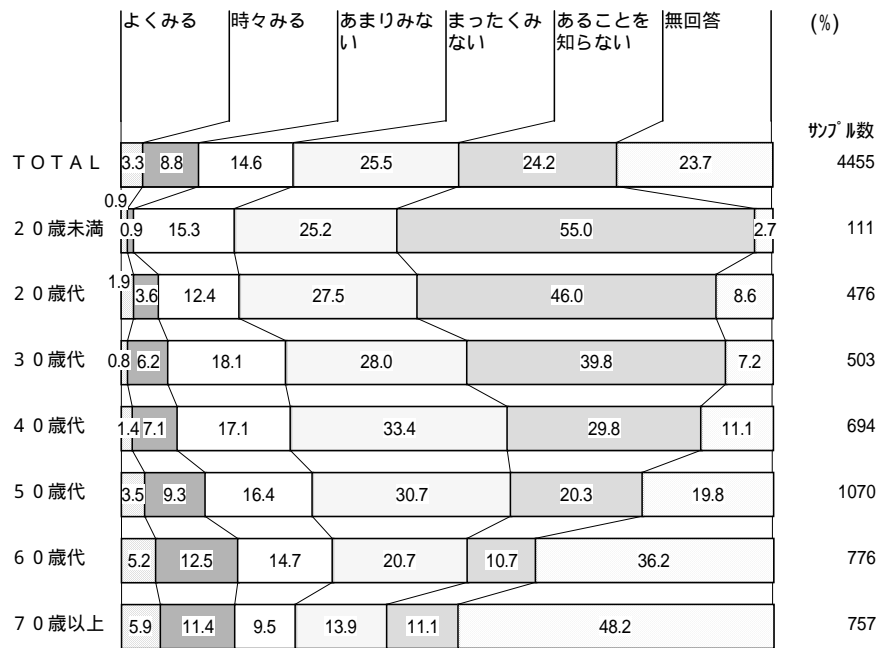
広報媒体の認知度

	よくみる	時々みる	あまりみない	まったくみない	あることを知らない	無回答	(%)	サジ ^o 数
合併協議会だより	15.8	27.7	18.9	8.1	9.7	19.8		4455
合併協議会ホームページ	3.3	8.8	14.6	25.5	24.2	23.7		4455
町の広報紙	46.6	25.1	7.0	2.6	1.3	17.3		4455
町のホームページ	6.0	11.5	12.4	29.5	17.4	23.2		4455

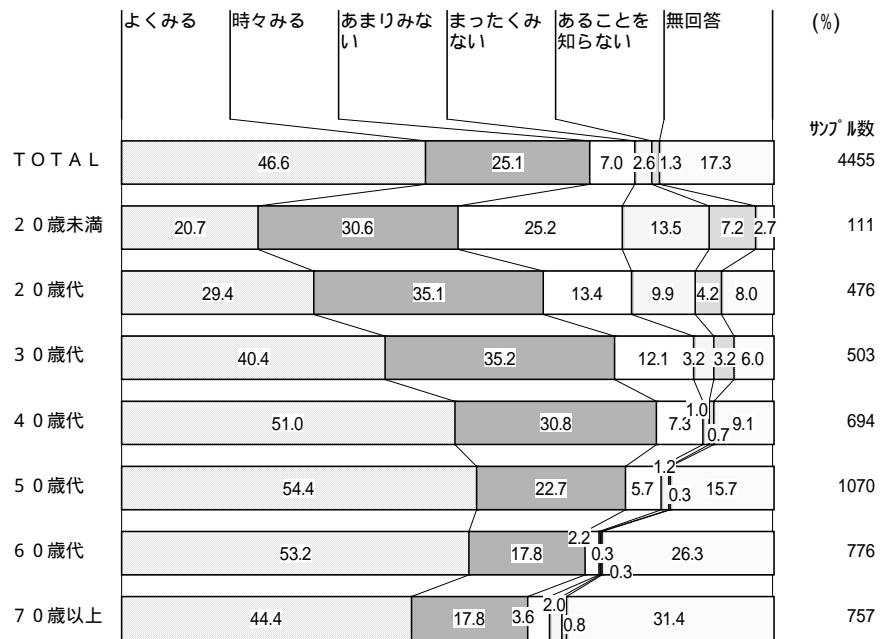
合併協議会だより(年齢別)

	よくみる	時々みる	あまりみない	まったくみない	あることを知らない	無回答	(%)	サジ ^o 数
TOTAL	15.8	27.7	18.9	8.1	9.7	19.8		4455
20歳未満	3.6	13.5	23.4	21.6	35.1	2.7		111
20歳代	5.3	19.5	21.8	22.1	22.9	8.4		476
30歳代	8.5	31.8	22.5	12.3	18.1	6.8		503
40歳代	13.5	31.8	26.2	7.8	10.7	9.9		694
50歳代	19.0	32.6	19.6	6.0	6.4	16.4		1070
60歳代	23.6	27.7	14.0	2.1	2.3	30.3		776
70歳以上	18.5	21.5	12.3	4.0	4.4	39.4		757

合併協議会ホームページ（年齢別）



町の広報紙（年齢別）



町のホームページ（年齢別）

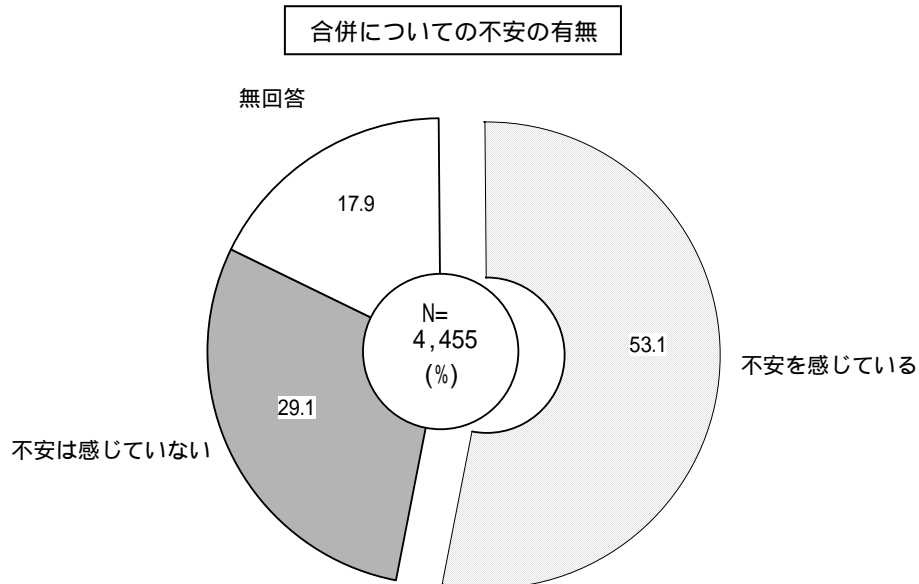
	よくみる	時々みる	あまりみない	まったくみない	あることを知らない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	6.0	11.5	12.4	29.5	17.4	23.2		4455
20歳未満	4.5	17.1	34.2	40.5	2.7	0.9		111
20歳代	1.7	8.8	14.3	32.4	34.2	8.6		476
30歳代	2.0	10.9	17.7	36.4	25.6	7.4		503
40歳代	2.7	12.0	15.4	39.6	19.5	10.8		694
50歳代	6.2	12.2	12.7	34.4	14.6	19.9		1070
60歳代	10.1	14.3	9.1	22.8	8.0	35.7		776
70歳以上	10.3	10.2	7.5	15.2	10.4	46.4		757

(3) 合併についての不安の有無

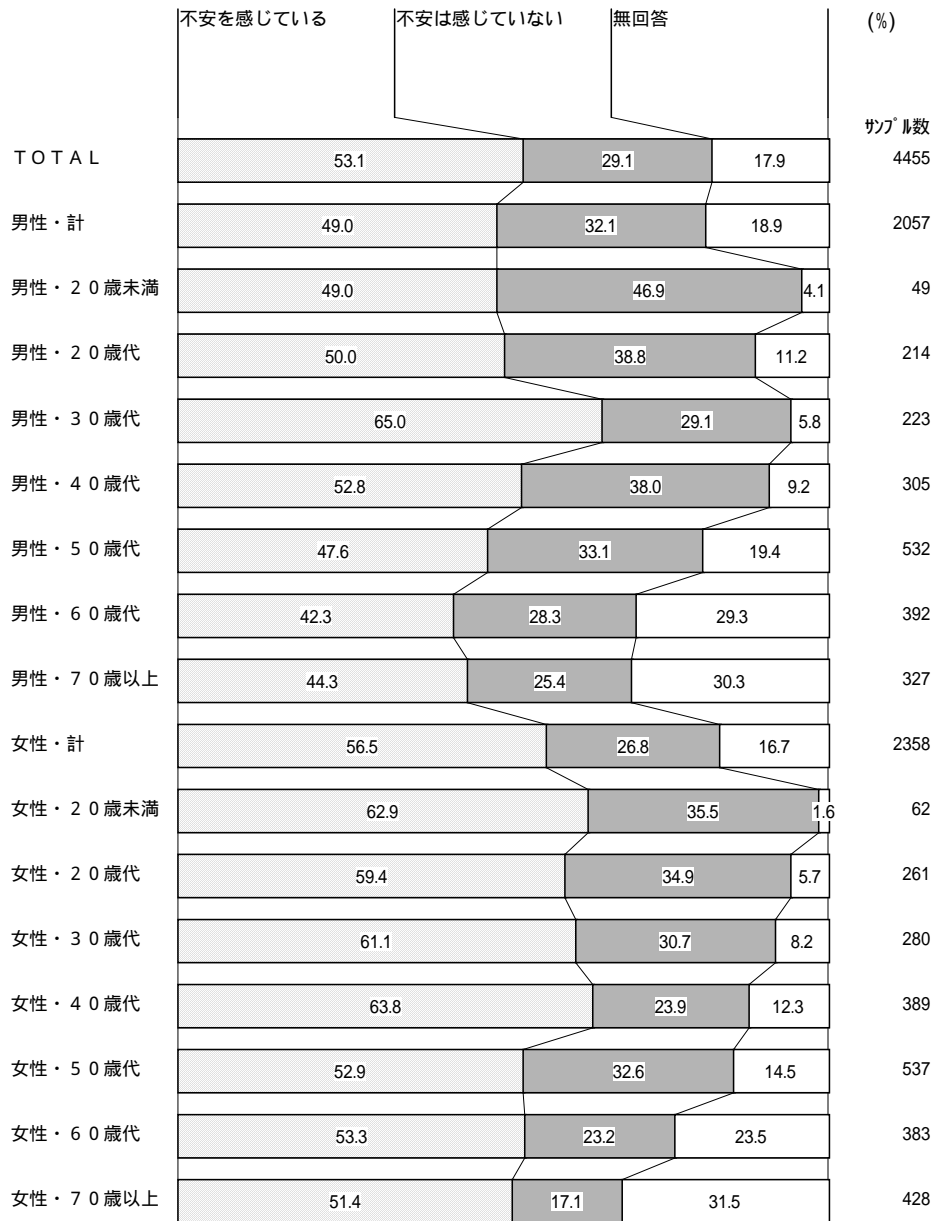
合併について不安の有無は、「不安を感じている」が半数以上の 53.1%となっている。

性別年齢別にみると、男性・30歳代、および女性・20歳未満から40歳代で「不安を感じている」人が多く、総じて女性は、不安を感じている割合が高い傾向であった。

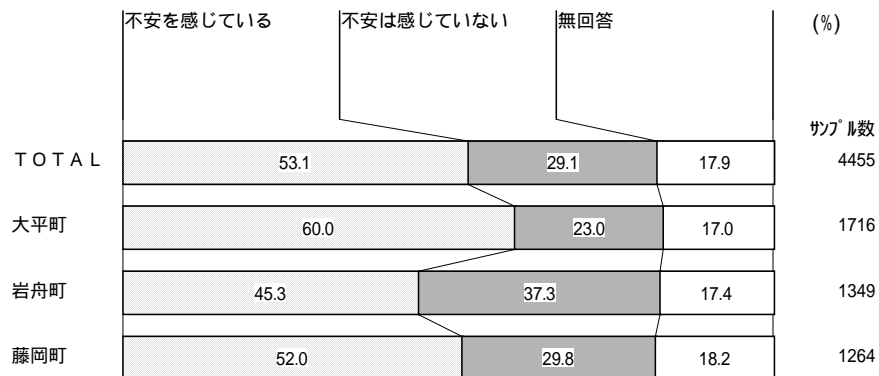
居住地区別にみると、大平町で「不安を感じている」が 60.0%と他の 2 町に比べて多くなっている。



合併について不安の有無（性別年齢別）



合併について不安の有無（居住地区別）

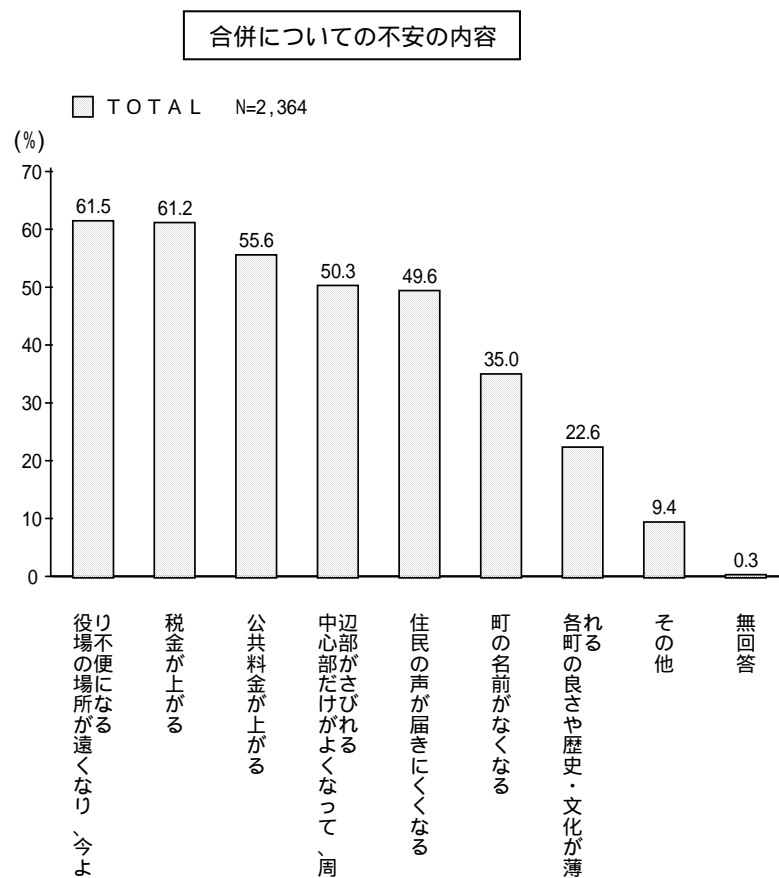


(4) 合併についての不安の内容

「役場の場所が遠くなり、今より不便になる」(61.5%)、「税金が上がる」(61.2%)ことへの不安が高く、それぞれ6割を占める。また、「公共料金が上がる」(55.6%)、「中心部だけがよくなって、周辺部がさびれる」(50.3%)、「住民の声が届きにくくなる」(49.6%)も5割前後を占めている。

年齢別にみると、「役場の場所が遠くなり、今より不便になる」は年齢が高くなるほど多くなる傾向となっている。

居住地区別にみると、大平町では「税金が上がる」(70.6%)、「公共料金が上がる」(64.7%)が、藤岡町では「中心部だけがよくなって、周辺部がさびれる」(61.2%)がそれぞれ他の2町に比べて多くなっている。



合併についての不安の内容（年齢別）

		0									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		役場の場 所が遠く なり、今 よ	税金が上 がる	公共料金 が上がる	中心部が さびれる 、周	住民の声 が届きにく くなる	町の名前 がなくなる	各町の良 さや歴史・ 文化が薄	その他	無回答	
*問 1 - 2	年齢	N									
0	TOTAL	2,364	61.5	61.2	55.6	50.3	49.6	35.0	22.6	9.4	0.3
1	20歳未満	63	△49.2	55.6	54.0	△31.7	△31.7	○66.7	○33.3	○22.2	0.0
2	20歳代	262	55.7	65.3	56.9	△46.9	△36.3	○46.2	27.5	10.7	0.4
3	30歳代	316	59.2	64.6	57.0	50.9	46.8	32.3	18.7	10.8	0.3
4	40歳代	409	60.1	62.8	55.3	50.1	51.1	△26.9	△17.1	9.3	0.0
5	50歳代	538	64.7	60.2	56.5	50.9	○57.8	31.8	22.5	10.0	0.2
6	60歳代	371	61.7	60.4	58.5	49.6	52.0	34.5	23.2	△5.1	○1.1
7	70歳以上	366	○67.2	57.4	50.3	54.4	49.5	37.7	26.5	9.3	0.3
8	無回答	39	53.8	56.4	53.8	61.5	38.5	41.0	23.1	5.1	0.0

合併についての不安の内容（居住地区別）

		0									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		役場の場 所が遠く なり、今 よ	税金が上 がる	公共料金 が上がる	中心部が さびれる 、周	住民の声 が届きにく くなる	町の名前 がなくなる	各町の良 さや歴史・ 文化が薄	その他	無回答	
*問 1 - 5	居住地区 町別	N									
0	TOTAL	2,364	61.5	61.2	55.6	50.3	49.6	35.0	22.6	9.4	0.3
1	大平町	1,030	60.5	○70.6	○64.7	△43.9	49.8	36.1	23.4	11.1	0.3
2	岩舟町	611	62.2	△56.3	△50.6	48.9	49.8	32.1	22.4	7.9	0.5
3	藤岡町	657	63.3	△52.1	△46.6	○61.2	49.3	35.6	21.6	8.8	0.3
4	無回答	66	53.0	51.5	51.5	56.1	47.0	39.4	22.7	4.5	0.0

7.3町および新市全体のイメージ

(1)各町のイメージ

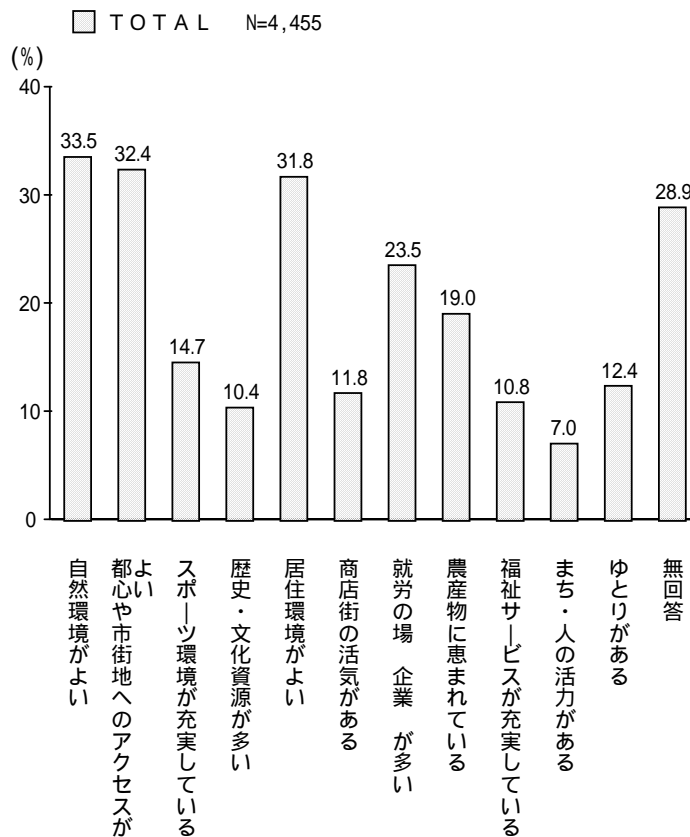
各町のイメージについては、いずれも「自然環境がよい」が1位となっている。(大平町 33.5%、岩舟町 49.2%、藤岡町 55.2%)

2位以下については、大平町では、「都心や市街地へのアクセスがよい」(32.4%)、「居住環境がよい」(31.8%)、岩舟町では、「農産物に恵まれている」(46.2%)、「歴史・文化資源が多い」(21.4%)、藤岡町では、「農産物に恵まれている」(31.2%)、「住環境がよい」(18.8%)となっている。

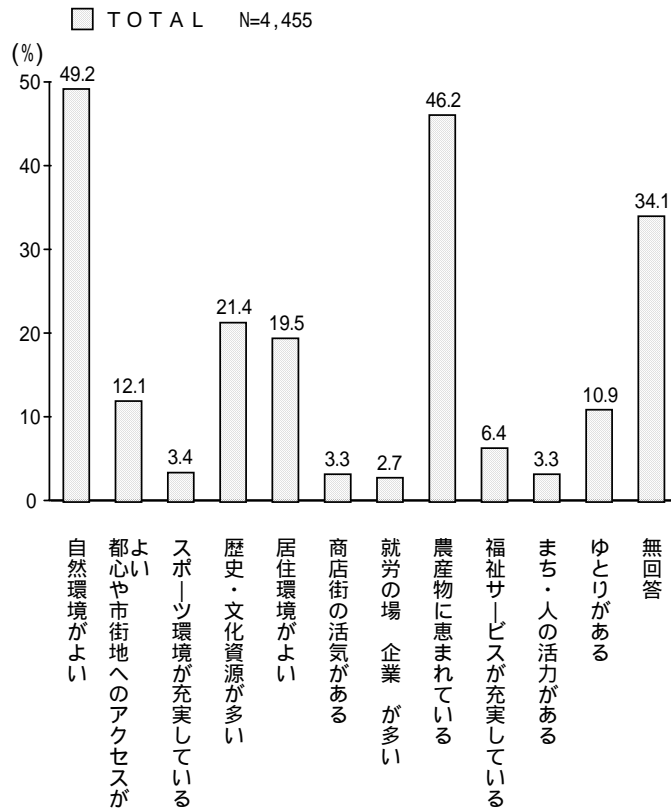
各町のイメージ(上位3位まで)

	1位	2位	3位
大平町	自然環境がよい 33.5%	都心や市街地へのアクセスがよい 32.4%	居住環境がよい 31.8%
岩舟町	自然環境がよい 49.2%	農産物に恵まれている 46.2%	歴史・文化資源が多い 21.4%
藤岡町	自然環境がよい 55.2%	農産物に恵まれている 31.2%	居住環境がよい 18.8%

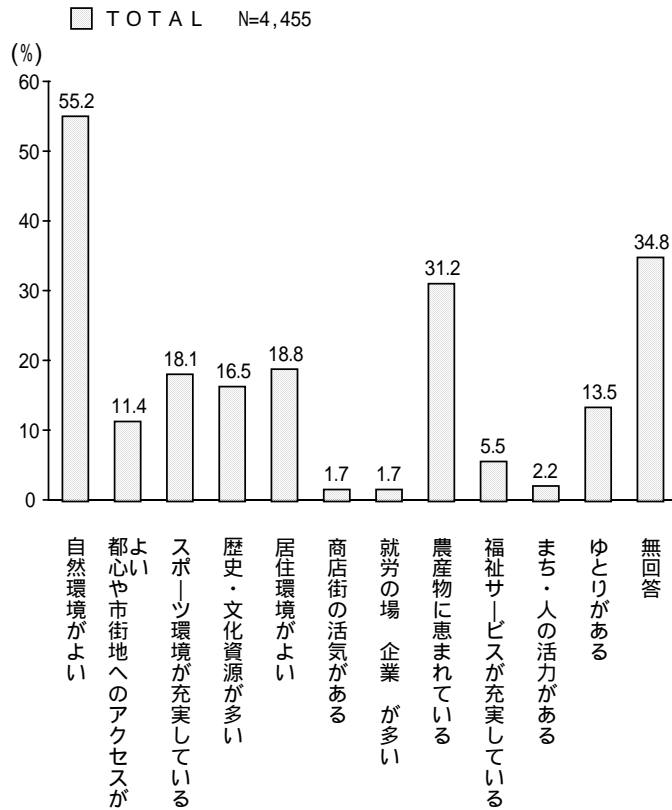
大平町のイメージ



岩舟町のイメージ



藤岡町のイメージ



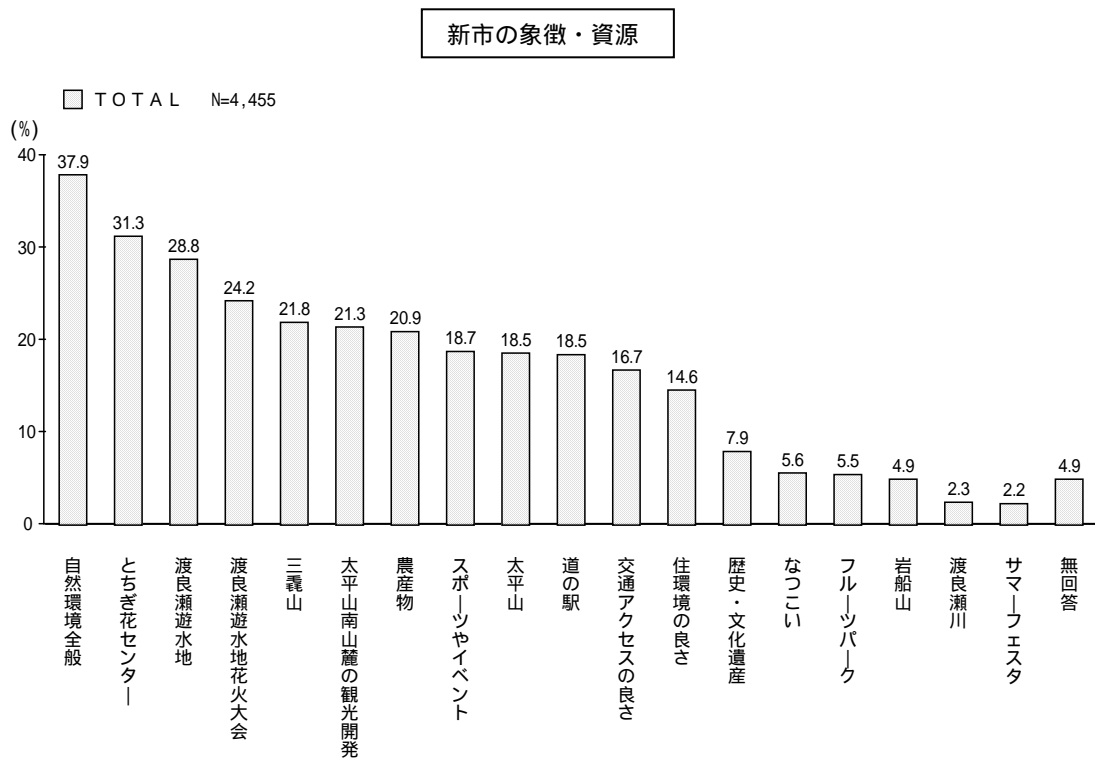
(2)新市の象徴・資源

新市の象徴・資源については、「自然環境全般」が最も多く 37.9%を占めた。続いて「とちぎ花センター」が 31.3%、「渡良瀬遊水地」が 28.8%となっている。

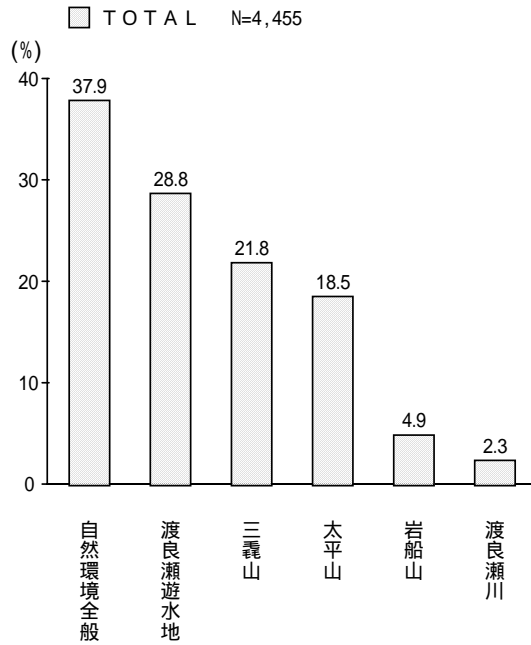
分野別にみると、＜自然＞分野では「自然環境全般」(37.9%)、＜産業＞分野では「農産物」(20.9%)、＜観光＞分野では「とちぎ花センター」(31.3%)、＜その他＞の分野では「渡良瀬遊水地花火大会」(24.2%)がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別にみると、20歳未満では「なつこい」が 27.9%と他に比べて多くなっている。また、20歳未満から 30歳代では「渡良瀬遊水地花火大会」が 4割前後と高い。

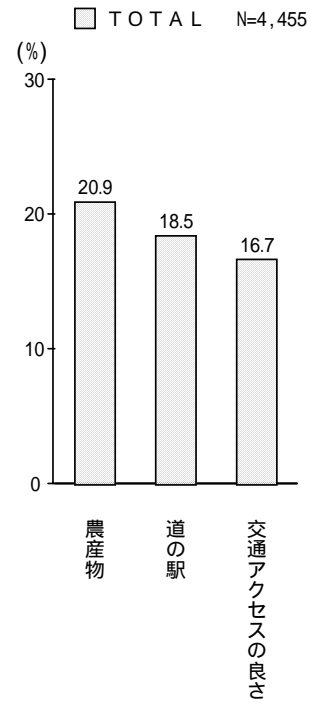
一方、40歳代～50歳代では「交通アクセスの良さ」(2割強)、50～60歳代では「自然環境全般」(4割強)、70歳以上では「とちぎ花センター」(39.8%)、「歴史・文化遺産」(12.3%)が他の年代に比べて支持されている。



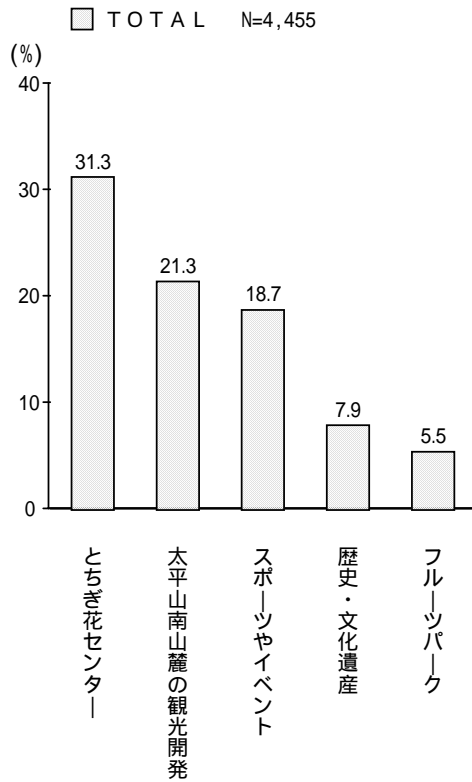
新市の象徴・資源（自然）



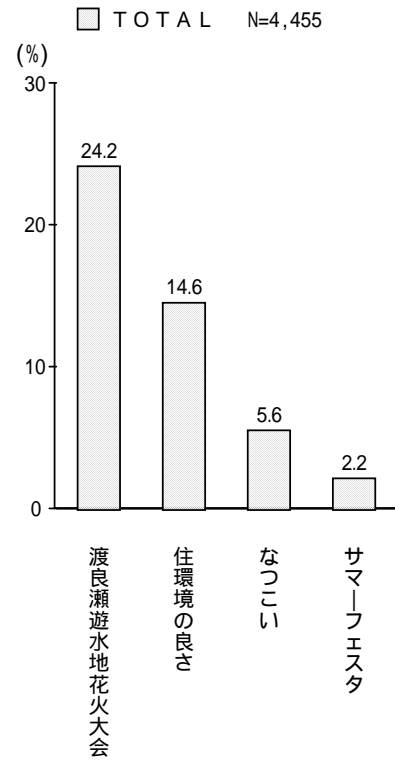
新市の象徴・資源（産業）



新市の象徴・資源（観光）



新市の象徴・資源（その他）



新市の象徴・資源（年齢別）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
		自然環境全般	とちぎ花センター	渡良瀬遊水地	渡良瀬遊水地花火大会	三義山	太平山 南山麓の観光開発	農産物	スポーツやイベント	太平山	道の駅	交通アクセスの良さ	住環境の良さ	歴史・文化遺産	なごい	フルーツパーク	岩船山	渡良瀬川	サマーエスタ	無回答	
*問1-2 年齢	N																				
0	TOTAL	4,455	37.9	31.3	28.8	24.2	21.8	21.3	20.9	18.7	18.5	18.5	16.7	14.6	7.9	5.6	5.5	4.9	2.3	2.2	4.9
1	20歳未満	111	△22.5	△19.8	27.9	○38.7	15.3	14.4	23.4	18.9	○28.8	15.3	15.3	10.8	4.5	○27.9	1.8	○9.0	○8.1	1.8	3.6
2	20歳代	476	△27.7	△25.8	27.7	○47.3	△13.0	△15.3	19.7	19.3	○25.4	19.5	14.5	△13.4	△2.9	6.5	3.6	4.4	○4.8	2.3	4.0
3	30歳代	503	△31.0	△24.9	29.8	○34.8	△16.5	△14.9	21.5	20.9	18.9	18.1	17.1	○17.9	△5.0	6.4	4.4	4.0	2.4	2.6	4.6
4	40歳代	694	38.3	31.0	25.8	22.6	19.9	△17.6	22.5	20.2	△14.0	16.3	○23.2	17.1	6.2	5.9	△3.3	△2.7	△0.7	1.2	3.7
5	50歳代	1,070	○42.0	29.4	27.7	△18.7	23.1	21.3	20.5	17.0	△15.5	19.3	○20.2	15.9	8.1	△4.1	7.0	△3.5	1.7	2.0	4.5
6	60歳代	776	○45.4	○35.3	29.1	△17.5	○27.6	○30.3	20.5	19.1	17.9	21.0	16.0	12.9	9.9	△3.7	6.4	6.2	2.7	3.2	3.5
7	70歳以上	757	37.0	○39.8	○33.2	△17.3	○25.4	24.3	20.6	18.0	20.7	17.2	△8.5	△11.6	○12.3	4.5	7.1	○7.5	1.7	2.2	○8.5
8	無回答	68	41.2	29.4	25.0	16.2	29.4	26.5	17.6	13.2	26.5	14.7	8.8	10.3	○11.8	2.9	7.4	4.4	0.0	○13.2	

アンケート調査票

		大	平	町	・	岩	舟	町	・	藤	岡	町		
3	町	合	併	に	関	す	る	住	民	ア	ン	ケ	ー	ト

ご協力のお願い

5月1日、大平町・岩舟町・藤岡町の3町は「大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会」を発足させ、合併に向けた新たなまちづくりのためのさまざまな協議を行っています。

新市（3町は、合併によって「市」になります）の将来構想・建設計画には、住民のみなさんのご意見やご要望をできるだけ反映したいと考えております。**夢のあるビジョンづくり**のため、このアンケートにお答えいただきますよう、よろしく願いいたします。

平成 15 年 9 月

大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会
会長 鈴木俊美

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、大平町、岩舟町、藤岡町にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に抽出させていただいた1万人の皆さんを対象に実施しています。
2. このアンケートのご記入は、必ず封筒の**あて名のご本人**にお願いします。
3. ご回答は、この調査票のあてはまる項目の番号に直接 印をつけてください。
なお、「その他」のお答えの場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますが、説明にしたがって最後までお進みください。
5. すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが記入もれがないかお確かめの
上、同封の返信用封筒（切手は必要ありません）に入れ、**10月8日(水)までに
ご投函ください。**

《問い合わせ先》 大岩藤合併協議会 事務局 計画班
〒329-4421 栃木県下都賀郡大平町西野田 666 - 1
大平町健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）内
TEL. (0282) 45 - 2339
FAX. (0282) 45 - 2340

まず、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 - 1 あなたの性別 (は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

問1 - 2 あなたの年齢 (は1つ)

1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代	7 70歳以上
---------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

問1 - 3 あなたの職業 (は1つ)

1 農林業	6 パート・アルバイト
2 自営業(商業・工業・サービス業)	7 主婦
3 会社員	8 無職・学生
4 団体職員	9 その他()
5 公務員	

問1 - 4 あなたは町内に住まれて、どのくらいになりますか。 (は1つ)

1 5年以内	2 5~10年	3 11~20年	4 21年以上
--------	---------	----------	---------

問1 - 5 現在お住まいの郵便番号をご記入ください。

〒

--	--	--

 -

--	--	--	--

*郵便番号は、居住地域ごとの課題やビジョンを考慮するための区分として使用しますので、必ずご記入ください。

問2 あなたは以下の(1)~(6)の項目について、通常どちらの方面へ行きますか。(1)~(6)それぞれについて、**主な方面**(A欄)に をつけ、その交通手段(B欄)や要する時間(C欄)についても をつけてください。

	A 方面							B 交通手段				C 所要時間		
	大平	岩舟	藤岡	小山	栃木	佐野	その他	徒歩	自転車	自家用車・タクシ	バス・電車	30分以内	30分~1時間以内	1時間以上
(1)通勤・通学	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3
(2)買い物(食料・日用品)	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3
(3)買い物(衣料・家電等)	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3
(4)食事	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3
(5)病院	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3
(6)遊び・娯楽	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	1	2	3

(A、B、Cの各欄、は1つずつ)

問3 あなたは、仕事や団体活動以外の個人的な用事で、どのくらい役場・出張所を利用しますか。 (は1つ)

1 ほぼ毎日	4 年に1～2回程度
2 月に1～2回程度	5 年に1回以下
3 半年に1～2回程度	6 行ったことがない

問4へ

付問1 役場へはどのような目的で行きますか。あてはまるものすべてに をつけてください。 (はあてはまるものすべて)

1 住民票・戸籍・印鑑証明等に関する手続き
2 国民健康保険、福祉サービス(児童・高齢者・障害者)等に関する手続き
3 税金に関する手続き
4 小学校・中学校に関する手続き
5 各種相談窓口への訪問
6 農業委員会の関係
7 その他(具体的に)

問4 - 1 お住まいの町の行政サービスについて、あなたはどのように感じていますか。(1)～(15)のそれぞれについて、あなたの考えにあてはまるものに を1つずつつけてください。

	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
(1) 各種申請・手続き等窓口業務	1	2	3	4	5
(2) 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
(3) 保育・児童福祉サービス	1	2	3	4	5
(4) 教育・学校サービス	1	2	3	4	5
(5) 防犯・防火等の対策	1	2	3	4	5
(6) 道路・歩道整備	1	2	3	4	5
(7) 居住環境等の整備	1	2	3	4	5
(8) 公共交通サービス	1	2	3	4	5
(9) 商業・中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
(10) 環境保全・ごみ処理対策	1	2	3	4	5
(11) 農業振興	1	2	3	4	5
(12) 観光・レクリエーション環境整備	1	2	3	4	5
(13) 文化施設・催物の運営、文化活動支援	1	2	3	4	5
(14) 町政への住民参加、意見の取り込み	1	2	3	4	5
(15) 町の行財政改革	1	2	3	4	5

問4 - 2 では、町の行政サービス全体について、どのように感じていますか。

(は1つ)

1 とても満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 とても不満

問4 - 3 合併後の新しい市が取り組むまちづくりとして、どこに力を入れるのが望ましいとお考えですか。(1)～(15)のそれぞれについて、あなたの考えにあてはまるものを1つずつつけてください。

(は1つずつ)

	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
(1) 各種申請・手続き等窓口業務	1	2	3	4	5
(2) 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
(3) 保育・児童福祉サービス	1	2	3	4	5
(4) 教育・学校サービス	1	2	3	4	5
(5) 防犯・防火等の対策	1	2	3	4	5
(6) 道路・歩道整備	1	2	3	4	5
(7) 居住環境等の整備	1	2	3	4	5
(8) 公共交通サービス	1	2	3	4	5
(9) 商業・中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
(10) 環境保全・ごみ処理対策	1	2	3	4	5
(11) 農業振興	1	2	3	4	5
(12) 観光・レクリエーション環境整備	1	2	3	4	5
(13) 文化施設・催物の運営、文化活動支援	1	2	3	4	5
(14) 町政への住民参加、意見の取り込み	1	2	3	4	5
(15) 町の行財政改革	1	2	3	4	5

次に、大平町・岩舟町・藤岡町の合併について、あなたのお考えをおたずねします。

問5 あなたは「大平町」「岩舟町」「藤岡町」の3町が合併するための協議を進めていることをご存知ですか。(はひとつ)

1 詳しく知っている 3 聞いたことがある程度
2 大まかなことは知っている 4 初めて知った

問6 あなたは普段、以下のものをご覧になりますか。(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまるものに を1つずつつけてください。

(は1つずつ)	よくみる	時々みる	あまりみない	まったくみない	あることを知らない
(1)合併協議会だより	1	2	3	4	5
(2)合併協議会ホームページ	1	2	3	4	5
(3)町の広報紙	1	2	3	4	5
(4)町のホームページ	1	2	3	4	5

問7 あなたは3町が合併することに不安を感じていますか。(は1つ)

1 不安を感じている	2 不安を感じていない
------------	-------------

問8へ

問1 あなたはどのような不安を感じていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はあてはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1 役場の場所が遠くなり、今より不便になる
2 中心部だけよくなって、周辺部がさびれる
3 住民の声が届きにくくなる
4 各町の良さや歴史・文化が薄れる
5 町の名前がなくなる
6 公共料金が上がる(水道料金など)
7 税金が上がる
8 その他(具体的に) |
|--|

問8 - 1 あなたは「大平町」「岩舟町」「藤岡町」の3町に対して、どのようなイメージをお持ちですか。各町に対するイメージとして、あてはまるものに を3つずつつけてください。

	(1)大平町 (は3つだけ)	(2)岩舟町 (は3つだけ)	(3)藤岡町 (は3つだけ)
自然環境がよい	1	1	1
都心や市街地へのアクセスがよい	2	2	2
スポ - ツ環境が充実している	3	3	3
歴史・文化資源が多い	4	4	4
居住環境がよい(住みやすい)	5	5	5
商店街の活気がある	6	6	6
就労の場(企業)が多い	7	7	7
農産物に恵まれている	8	8	8
福祉サービスが充実している	9	9	9
まち・人の活力がある	10	10	10
ゆとりがある	11	11	11

問8 - 2 新市の象徴となるもの、または新市の活性化のためにアピールしていくべきものはなんだと思いますか。次の中から3つ選んでください。(は、3つだけ)

<p><自然></p> <p>1 自然環境全般</p> <p>2 太平山</p> <p>3 岩船山</p> <p>4 三轟(みかも)山</p> <p>5 渡良瀬川</p> <p>6 渡良瀬遊水地</p> <p><産業></p> <p>7 農産物(野菜・果物・肉牛)</p> <p>8 交通アクセスの良さ(工業・物流)</p> <p>9 道の駅(藤岡町・国道50号線沿い)</p>	<p><観光></p> <p>10 太平山南山麓(大平町)の観光開発</p> <p>11 フルーツパーク(岩舟町)</p> <p>12 とちぎ花センター(岩舟町)</p> <p>13 スポーツやイベント(藤岡町・遊水地)</p> <p>14 歴史・文化遺産 (具体的に:)</p> <p><その他></p> <p>15 住環境の良さ(宅地開発)</p> <p>16 「なつこい」(大平町)</p> <p>17 「サマーフェスタ」(岩舟町)</p> <p>18 「渡良瀬遊水地花火大会」(藤岡町)</p>
---	--

大平町・岩舟町・藤岡町の新しいまちづくりについてご意見・ご要望がございましたら、何でもお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれなどないかも一度お確かめの上、同封の返送用封筒(切手は不要です)にて、**10月8日(水)までにご投函**ください。

中学生アンケート 調査結果

目 次

. 調査の概要	1
1 . 調査の目的	1
2 . 調査対象	1
2 . 調査の方法	1
3 . 回収状況	1
. アンケート調査結果概要	2
1 . 3町の中学生の現状	2
2 . 中学生が思い描く合併・将来像	2
3 . 中学生が望むこれからのまちづくり	2
4 . まとめ	3
. アンケート調査結果	4
1 . 合併への期待	4
問1 合併への期待	4
問1 - 期待する理由	5
問1 - 期待しない理由	6
2 . 自分の町・他の2町に対する認識	7
問2 自分の町で好きなところ	7
問3 他の2町で好きなところ	8
3 . 新しい市のまちづくりに望むもの	10
問4 希望するまちづくり	10
4 . 新しい市の将来像	11
問5 イメージ・キーワード	11
. アンケート調査票	12

．調査の概要

1．調査の目的

合併に向けて必要な事務の一つである新市建設計画を策定するにあたり、将来を担う中学3年生を対象にアンケートを実施し、新市建設計画策定の参考資料としたい。また、アンケートを実施することによって、町や合併についての関心を高めることを目的とする。

2．調査対象（各中学校3年生）

大平中学校・大平南中学校・岩舟中学校・藤岡第一中学校・藤岡第二中学校

3．調査の方法

各町の中学3年生を対象に、各学校を通して15年9月1日から9月16日までを期間に、アンケート調査を実施しました。

4．回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回答数
700	637	91.0	637

．アンケート調査結果概要

1．3町の中学生の現状

アンケート回答から判断できる3町の中学生の、自分の町及び他の2町に対する認識はどのようなものでしょうか。

問2の「**自分の町で、好きなところはどこですか**」

この問いの回答の上位をしめる内容が、自分の通学している中学校や自宅等、身近な場所であることから、現在、ある程度自分の住んでいる町に愛着を持ちながら学校生活を送っていると考えられます。

問3の「**他の2つの町で、好きなところはどこ（どんなこと）ですか**」

この問いの回答の約75%が「ない・わからない」と答えています。これは、部活動等で学校間の交流は行われても、学校を離れた地域間での交流の機会が極めて少ないことを表しており、中学生の活動する範囲がごく限られたものであるということが理解できます。

以上のことをふまえ、中学生が思い描く合併や新市の将来像について分析します。

2．中学生が思い描く合併・将来像

「3町の合併」に対して、中学生は何を思い描くのでしょうか。

合併への期待についてたずねたところ、約半数の生徒から「期待しない」との回答があり、「期待する」との答えは2割程度にとどまりました。

期待しないと答えた生徒にその理由をたずねたところ、トップが「町が良くなるとは思わない」（35.6%）次いで「特に生活は変わらない」（26.0%）「都会になるわけではない」（17.4%）「都市化によって、環境が汚される」（11.4%）の順でした。

3町の中学生の現状からみても、合併に「期待しない」という意見は、安定している現状が「変わってほしくない」という思いと、合併しても「何も変わらないのではないか」という不安の表れではないでしょうか。

反面、合併市に対する自由な将来像を質問したところ「駅・デパート・大型ショッピングセンター・プール・テーマパーク・大きな病院」等の有る都市化された街のイメージを強く持っていることが現れています。

このことから、中学生が思い描く3町合併のイメージは、より都市化され、自分たちの身の回りや生活が便利になっていくというものです。

3．中学生が望むこれからのまちづくり

中学生が望むこれからのまちづくりとは、「自然と調和のとれたまちづくり」です。

これは「**自分の町で、好きなところはどこ（どんなこと）ですか**」の問いに、「豊かな自然・緑」との答えがたくさんあったこと、また「**新しい市ではどのようなまちづくりをしたら良いのでしょ**

うか。」の問いに都市化を望む声と、環境に優しいまちづくりをしてほしいという意見が多かったことから、うかがい知ることができます。3町の中学生とも自然豊かな郷土に少なからず愛着を持っていることがわかります。

中学生は、都市化が進み賑わいのあるまちにはなってほしいが、自分たちの自然豊かな郷土を守っていきたいと考えているようです。

4.まとめ

現在の3町の中学生は、新市の将来像として、豊かな自然環境を大切にしつつも、便利さや快適さなど都市としての機能も大切であると認識していることがわかりました。

キーワード

自然環境への興味
便利なまち

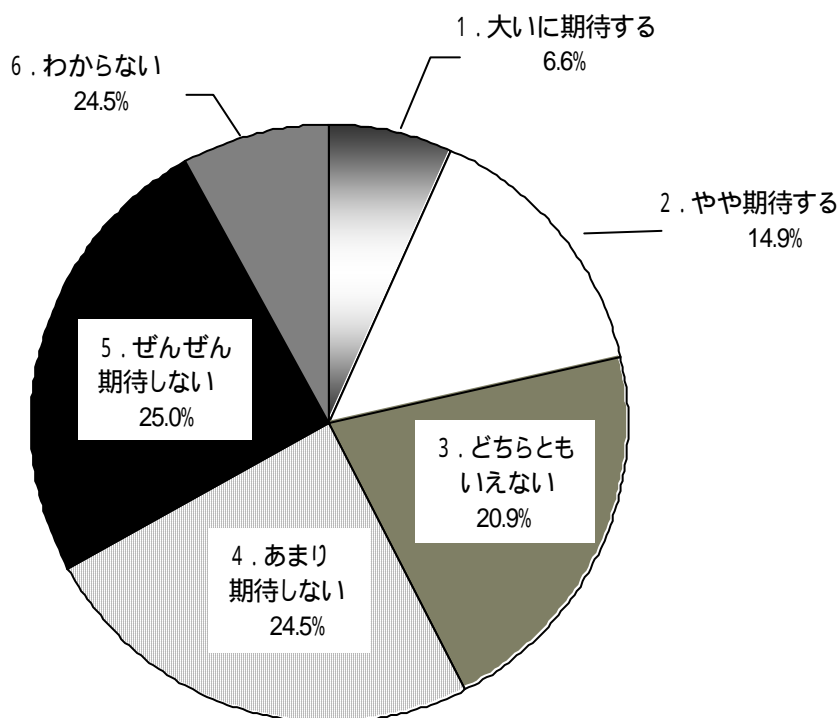
. アンケート調査結果

1. 合併への期待

問1 あなたは、3町の合併に期待しますか。(は1つ)

合併への期待については、「5. ぜんぜん期待しない」が25.0%で最も多く、「4. あまり期待しない」の24.5%を合わせると49.5%の生徒が合併には期待しないとしています。次いで「どちらともいえない」が20.9%となりました。一方「1. 大いに期待する」は6.6%「2. やや期待する」は14.9%にとどまっています。

	回答数	構成比(%)
1. 大いに期待する	42	6.6
2. やや期待する	95	14.9
3. どちらともいえない	133	20.9
4. あまり期待しない	156	24.5
5. ぜんぜん期待しない	159	25.0
6. わからない	52	8.2
合計	637	100.0

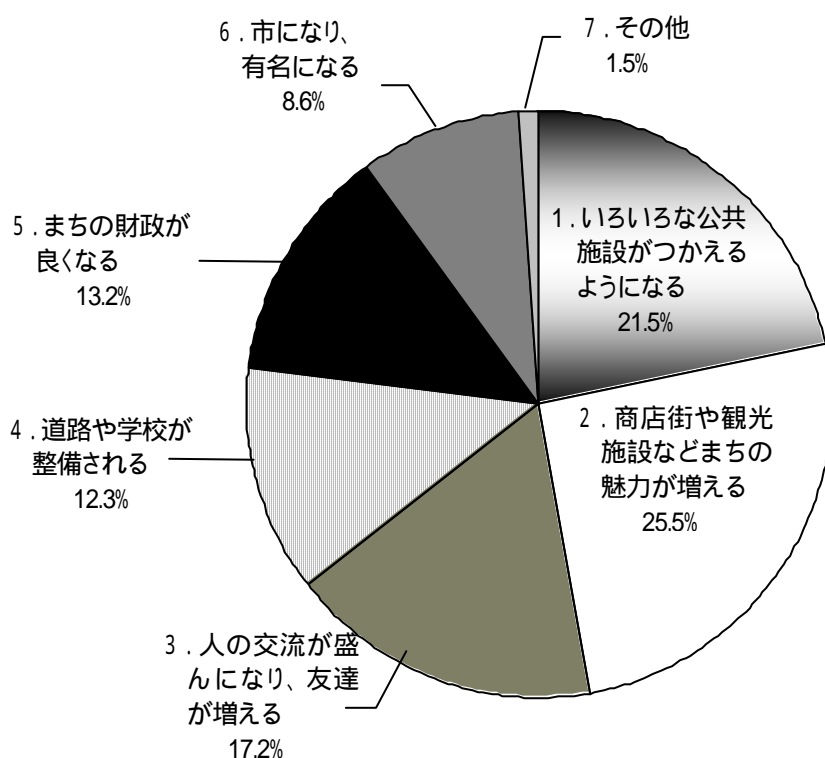


問1 - 「大いに期待する」「やや期待する」と答えた人…それはなぜですか。

(はいいくつでも)

合併に期待する理由としては、「2. 商店街や観光施設などまちの魅力が増える」が 25.6%と最も多く、次いで「1. いろいろな公共施設が使えるようになる」21.6%「3. 人の交流が盛んになり、友達が増える」17.3%という状況でした。

	回答数	構成比(%)
1. いろいろな公共施設が使えるようになる	70	21.5
2. 商店街や観光施設などまちの魅力が増える	83	25.5
3. 人の交流が盛んになり、友達が増える	56	17.2
4. 道路や学校が整備される	40	12.3
5. 町の財政が良くなる	43	13.2
6. 市になり、有名になる	28	8.6
7. その他	5	1.5
合 計	325	100.0



「その他」と回答した方の意見

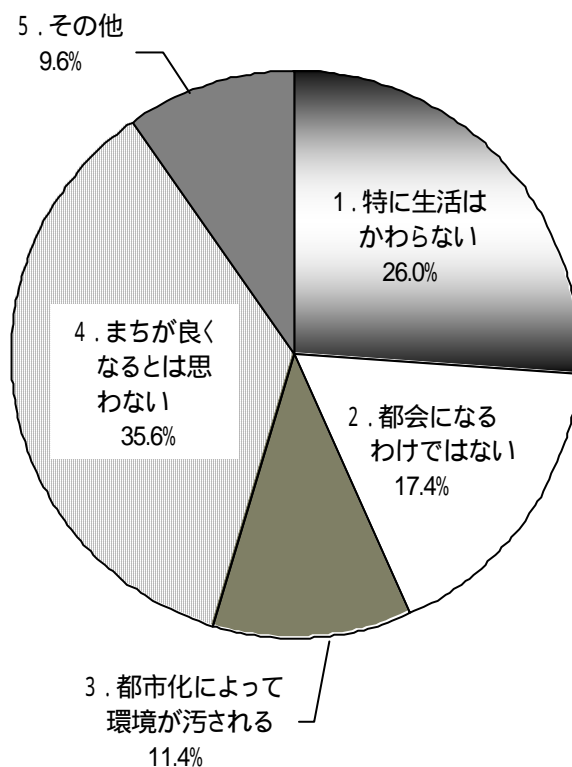
- 町が発展する
- 3町とも何もないのでつまらない
- 市になって近代化する
- 市街地が広がるきっかけとなる
- ビルなどを建てて生活しやすくしてほしい

問1 - 「あまり期待しない」「ぜんぜん期待しない」と答えた人…それはなぜですか。

(はいくつでも)

合併に期待しない理由としては、「4.町が良くなるとは思わない」が35.6%と最も多く、次いで「2.特に生活はかわらない」が26.0%、「2.都会になるわけではない」が17.4%、「3.都市化によって、環境が汚される」が11.4%となっています。

	回答数	構成比(%)
1. 特に生活はかわらない	144	26.0
2. 都会になるわけではない	96	17.4
3. 都市化によって、環境が汚される	63	11.4
4. 町が良くなるとは思わない	197	35.6
5. その他	53	9.6
合計	553	100.0



「その他」と回答した方の主な意見

- 町の名前がなくなるのがさびしい。
- 財産面がよくなることが見込まれないため
- 山の名前や駅の名前がまざってややこしい。今の町の名前の方がいい。
- 区域が広くなり公共施設の利用の仕方がわからない。
- このままがよいから
- ただ広いだけの何も無い町になってほしくない
- 都会になるのはいや
- 公共施設が減る

2. 自分の町・他の2町に対する認識

問2 自分の町で、好きなところはどこ（どんなこと）ですか。

岩舟町の生徒さんの意見は

好きなところ	
岩船山	43
緑が多い・静か	30
町の施設	28
学校	26
ファミリーブック（お店）	20
家・家の周辺・公園	10
町の全て	9
駅	4
花センター	2
三毳山	2
ない	39

好きなこと(文化・歴史・人)	
円仁	99
夏祭り	15
緑が多い・ほのぼの	12
いい人が多い	4
ぶどう	4
平和	2
岩舟すべて	2
みかも焼き	1
ない	73

大平町の生徒さんの意見は

好きなところ	
町の施設	47
緑が多い・静か	40
学校	27
家・家の周辺・公園	23
太平山	16
桜並木	12
本屋（お店）	8
町の全て	6
大中寺	4
かかしの里	3
ぶどう団地	3
駅	2
清水寺	1
日立	1
市に近い	1
水が安い	1
ない	86

好きなこと(文化・歴史・人)	
楽しいイベントがある	40
大中寺	10
環境がいい・空気がいい	9
大平文化・歴史	7
ぶどうが有名	5
公共施設が多くある	4
町長	4
大平町民	3
榎本城	3
大平神社	1
清水寺	1
太平山	1
店が多い	1
ない	165

藤岡町の生徒さんの意見は

好きなところ	
渡良瀬遊水地・渡良瀬川・運動公園	55
自然・緑が多い・のどか	25
町の施設	15
土手(巴波川etc)	8
三轟山・みかも山公園	6
藤岡町全部	6
学校	4
家・家の周辺・公園	3
お店	2
神社	1
ない	27

好きなこと(文化・歴史・人)	
田中正造・谷中村の歴史	54
初市	7
自然がある	5
町民が優しい	5
花火大会	4
歴史・文化	3
万葉集に歌われている	1
渡良瀬川	1
みずウオーク	1
栃木山	1
よさこい祭り	1
ない	41

問3 他の2つの町で、好きなところはどこ(どんなこと)ですか。

岩舟町の生徒さんの意見は

好きなところ	
渡良瀬遊水地	21
大平運動公園	9
太平山	9
大平町図書館	8
学校	2
大平桜並木	2
藤岡体育館	2
みかも山	1
なし	105

好きなこと(文化・歴史・人)	
ぶどう	10
田中正造	7
大平夏まつり	6
遊水地花火大会	3
太平山	2
渡良瀬遊水地	2
桜祭り	1
なし	167

大平町の生徒さんの意見は

好きなところ	
渡良瀬遊水地	14
岩舟中学校	5
岩船山	4
岩舟町	3
コスモスホール	1
藤岡	1
藤岡二中	1
渡良瀬川	1
わからない	200

好きなこと(文化・歴史・人)	
遊水地花火大会	5
岩舟の文化	1
藤岡の文化	1
わからない	215

藤岡町の生徒さんの意見は

好きなところ	
太平山	19
大平運動公園	8
岩船山	6
コスモスホール	1
とちぎ花センター	1
ぶどう団地	1
大平図書館	1
岩舟駅	2
ない	51

好きなこと(文化・歴史・人)	
ぶどう畑でぶどう狩り	2
大平の文化会館行事	1
ない	76

3. 新しい市のまちづくりに望むもの

問4 合併市（人口6万6,000人、面積147km²）は、これからどんなまちづくりを行ってほしいと思いますか。【例：施設、環境、産業、交通、賑わい、福祉、教育、安全、住民参加等】

賑やか(都市化・近代化)で店のある栄えたまちづくり	147
緑が多く、環境の良いまちづくり(環境イベント開催等、環境を積極的に守る)	139
公共施設を充実させるまちづくり(スポーツセンターをつくり、スポーツが盛んなまちづくり)	59
安全なまちづくり(街灯をつける、交通事故をなくす)	59
交通機関の利便性の良いまちづくり(駅・道路を整備する)	53
福祉に力を入れたまちづくり(バリアフリー等)	35
娯楽施設や憩いの場が充実したまちづくり(公園の整備等)	32
教育・国際交流の盛んなまちづくり	26
静かで暮らしやすいまちづくり	18
まちの行事が盛んなまちづくり	17
住民参加を積極的に推進するまちづくり	8
産業を発展させるまちづくり	8
今までと変わらないまちづくり	6
医療体制の整ったまちづくり	4
たくさんの観光客が来るまちづくり	4

4. 新しい市の将来像

問5 自分なりの考えをもとに、合併市の将来像(イメージ・キーワード)を、書いてみてください。

キーワード	
お店や施設がたくさんある便利な、活気のある都市	46
自然が多く、自然に優しい住みよい市	30
ぶどう	4
田舎ののどかなまち	2
豊かで、楽しく、のどかな明るいまち	2
ハイテクな市	1
平和なまち	1
このまま	1
岩平藤市	1
わたらせ市	1
栃南市	1
空府都市	1
下都賀南市	1

イメージ	
3町の接点、市の真ん中に	
市役所	17
お店、娯楽施設	9
総合病院	6
デパート	6
公園、プール	6
駅	4
図書館	3
福祉施設	3
学校	3
タワー	1
ビル	1

新市には	
たくさんの店をつくり、賑やかにする	26
娯楽施設をつくる	25
交通を便利にする(バス・電車)	15
充実した、公共施設、運動施設を作る	13
病院を作る	12
自然を増やす	3
学校を作る	3
福祉施設をつくる	2

アンケート調査票

1. あなたは、3町の合併に期待しますか。(はひとつだけ)

1. 大いに期待する	4. あまり期待しない
2. やや期待する	5. ぜんぜん期待しない
3. どちらともいえない	6. わからない

「大いに期待する」「やや期待する」と答えた人 それは、なぜですか。(はいくつでも)

1. いろいろな公共施設が使えるようになる	5. 町の財政がよくなる
2. 商店街や観光施設などまちの魅力が増える	6. 市になり、有名になる
3. 人の交流が盛んになり、友だちが増える	7. その他 ()
4. 道路や学校が整備される	

「あまり期待しない」「ぜんぜん期待しない」と答えた人 それは、なぜですか。(はいくつでも)

1. 特に生活は変わらない	4. 町が良くなるとは思わない
2. 都会になるわけではない	5. その他 ()
3. 都市化によって、環境が汚される	

2. 自分の町で、好きなところはどこ(どんなこと)ですか。

1. 好きなところ(場所) ()	2. 好きなこと(文化・歴史や人など) ()
----------------------	----------------------------

3. 他の2つの町で、好きところはどこ(どんなこと)ですか。

1. 好きなところ(場所) ()	2. 好きなこと(文化・歴史や人など) ()
----------------------	----------------------------

4. 合併市(人口6万6,000人、面積147k㎡)は、これからどんなまちづくりを行ってほしいと思いますか。

【例：施設、環境、産業、交通、賑わい、福祉、教育、安全、住民参加等】

()

5. 自分なりの考えをもとに、合併市の将来像(イメージ・キーワード)を、書いてみてください。
(線には、こだわらなくても結構です。)

